

教 育 部

教育政策課

課長 小林 伸一

事務事業評価票

事務事業名	教育文化センター事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	教育文化センター管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校教育・社会教育共有の「楽しみながら学べる施設」、「市民、学校に開かれた施設」をモットーとし、天文や科学を中心とした各種事業の実施により生涯学習の推進に寄与するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 教文学習
市立小中学校の児童・生徒(小5及び中1)がセンターを会場に、学校ではできない学習を実施し、学習経験の拡大を図るもの。センターにおける学校教育支援機能の中核として開館以来実施。
令和元年度実績 小学校28校 2,221名 中学校20校 2,139名 計48校 4,360名
- 2 プラネタリウム関係事業
平成30年度にプロポーザル方式によりプラネタリウム映映機を更新。平成31年4月27日にリニューアルオープンし、最新の統合型プラネタリウムを活用した事業を実施。
土日祝日における投映回数をこれまでの1日3回から4回に増やし、また新規に金曜日の夜間投映を行い、より多くの市民に観覧していただけるよう運営の見直しを実施。
新規事業として、番組制作講座等市民参加が可能なプラネタリウム事業を実施。
令和元年度延投映日数:210日(内一般投映日数:153日、特別投映日数:57日)
- 3 宇宙関連企画事業
興味関心を深められるよう講演会、施設見学ツアー、コズミックカレッジを3つの柱として実施。
令和元年度実績 宇宙講演会:95名 JAXA見学ツアー:30名(応募者387名)
コズミックカレッジ:189名(応募者:235名)
- 4 自然科学関係講座
親子科学教室、サイエンスショー、理系女子のためのUVレジン講座の実施
令和元年度実施件数:10回、参加人数:480名
- 5 天文講座
最上階に設置されている30cmの反射式望遠鏡を使用し、天体観測等を実施するもの。
令和元年度実績 太陽観測:59名 星空散歩:185名
- 6 パソコン関係講座
ワード、エクセル、パワーポイント等のパソコン講座の開催
令和元年度実施件数:26件、受講者数:363名
- 7 視聴覚関係事業
親子映画会等の開催 令和元年度実施件数:10件、観覧者数:824名

・建物を改修し、科学館として整備することを見据え、既存事業の充実及び新規事業を実施していくとともに、休館中の事業のあり方を検討していく。
・プラネタリウムについては、リニューアル直後は、全ての回で満席になる等多くの市民に観覧いただいた。今後は、番組を投映するだけでなく、星空解説を充実させ、子どもをはじめとした市民に天文や宇宙への興味を高めてもらうための取組みを進める。

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	プラネタリウム事業参加者数				
指標の設定理由	施設の事業において中心的な役割を担っているため				
目標値	15,000	15,000	15,000	17,500	17,500
実績値	12,164	12,221	9,778	14,312	
達成度	81.1%	81.5%	65.2%	81.8%	-
成果指標(指標名)	教育文化センター各種講座受講者数				
指標の設定理由	施設の利用状況を示す代表的指標であるため				
目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
実績値	7,112	6,892	6,608	6,916	
達成度	88.9%	86.2%	82.6%	86.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	51,522	64,414	73,315	75,110	77,710					
国・県	4,104	4,104	5,370							
利用者負担金	3,191	2,877	2,677	3,230	3,690					
その他										
一般財源	44,227	57,433	65,268	71,880	74,020					
人件費(千円)	47,224	人工	39,443	人工	35,820	人工	30,186	人工		人工
正規	29,991	3.9	22,011	2.9	20,385	2.7	19,000	2.5		
嘱託	14,193	4.98	14,392	4.98	13,865	4.7	8,046	2.7		
	3,040	1	3,040	1	1,570	0.5	3,140	0.5		
合計コスト +	98,746		103,857		109,135		105,296		77,710	
前年度比	-		105.2%		105.1%		96.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	社会教育事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	社会教育事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

「学都松本」がめざましちの姿を 学び続けるまち 共に学ぶまち 次代に引き継ぐまちと定め、市民とともに様々な取組みで実現する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- まつもと市民生きいき活動
思いやりの心で人に接するなど、いつの時代にあっても変わらない大切なこと(=不易)市民一人ひとりが自ら目標を定めて地道に取り組む活動。周知のためこども育成課のまつもと子どもスマイル運動と連携したチラシの作成・配布、広報まつもとで活動事例の紹介
・チラシ配布 全戸配布および関連施設窓口
・広報まつもと事例紹介数 4回
- 学都松本推進事業
学都松本推進協議会を設置し、学びについて考える学都松本フォーラムの企画運営や、年間通じた推進事業の検討を、市民委員、教育部及び関係部局との連携のうえ実施するもの
・第8回学都松本フォーラム 9月21日～22日 参加者数:1,042人
・学都松本教育100年を語る会(通年講座)年5回 延参加者数:224人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期した1講座を除く)
・学都松本推進リーフレットの作成

< 現状に対する認識 >

- 「まつもと市民生きいき活動」と「まつもと子どもスマイル運動」は変わらない大切なことを地道に続けることを啓発する性質上、数値での成果検証は困難だが、費用対効果の観点から印刷物の更新周期等は見直しも必要
- 「学都松本推進事業」は定着してきた事業を発展させ、主体的で深い学びを誰もが当たり前に、発信や協働できる環境づくりにつなげていく。また、フォーラム参加人数の減は会場変更による影響が大きい可能性があるため、従前の会場での開催を検討するとともに、どこでも学べる手法を研究していく。

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「学都松本」について知っている市民の割合				
指標の設定理由	学都松本の理念が市民にどれだけ広まっているかを知る指標として				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.7%	71.7%	71.7%	71.7%	
達成度	102.4%	102.4%	102.4%	102.4%	-
成果指標(指標名)	学都松本フォーラム参加者数				
指標の設定理由	学都を周知する機会として代表的な事業の成果指標				
目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950
実績値	2,568	2,041	1,036	1,042	
達成度	93.4%	72.9%	36.4%	35.9%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,820	3,249	1,734	2,194	1,380					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,820	3,249	1,734	2,194	1,380					
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	3,800	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	7,434		7,803		6,264		5,994		1,380	
前年度比	-		105.0%		80.3%		95.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	新科学館整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	新科学館整備事業費

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

教育文化センターを改修し、宇宙と科学に特化する科学館として整備するために必要となる事業(基本計画の策定、PPP/PFI導入可能性調査の実施、建築設計及び展示設計、施設の大規模改修、展示工事、備品等の更新)を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 新科学館建設検討委員会の設置
外部有識者5名を委員とする委員会を3回開催
第1回:令和元年 8月 5日
第2回:令和元年10月16日
第3回:令和 2年 1月22日
- 基本計画の策定及び基本設計
平成31年3月にプロポーザル方式により、基本計画策定支援及び基本設計の業者選定を行い、平成31年4月より着手
契約期間:平成31年4月1日~令和2年3月31日
- 新科学館ワークショップの開催
市民へのアンケート調査及びグループワーク形式のワークショップを3回開催
第1回:令和元年 7月28日 実施方式:聞き取りによるアンケートの実施
対象:教育文化センター利用者(主として親子での来館者) 77名
第2回:令和元年10月26日 実施方式:グループワーク形式
対象:市内高校生及び大学生 32名
第3回:令和元年12月 8日 実施方式:グループワーク形式
対象:教育文化センター利用者(主として大人) 15名
- PFI導入可能性調査の実施
令和元年9月にプロポーザル方式により委託業者を選定し、調査に着手。
契約期間:令和元年10月23日~令和2年4月30日

< 現状に対する認識 >

・既存の建物を改修し、科学館として整備するに当たり、基本計画の策定、基本設計の完了、整備手法の決定を進める。
・令和元年度は、昨年度末に着手した基本計画の策定及び基本設計を進めるため、有識者による建設検討委員会の開催や、幅広い市民の声を反映させるためのワークショップを実施。また、PFI導入可能性調査に着手。
・今後、早期に基本計画を策定し、PFI等の整備手法についても検討を進める。PFIを導入する場合には、アドバイザー業務により要求水準書の作成を進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業進捗率				
指標の設定理由	事業の進み具合を示す代表的な成果指標として				
目標値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手	基本設計完成	PFI導入調査完了
実績値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手	基本設計完成	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	548	6,108	59,750	8,210
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		548	6,108	59,750	8,210
人件費(千円)	0	人工 10,630	人工 14,295	人工 21,270	人工
正規	0	7,590	1 8,305	1.1 16,720	2.2
嘱託	0	0	0 2,950	1 2,980	1
		3,040	1 3,040	0.5 1,570	0.5
合計コスト +	0	11,178	20,403	81,020	8,210
前年度比	-	-	182.5%	397.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	海洋教育パイオニアスクールプログラム
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	海洋教育パイオニアスクールプログラム事業

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	R元 ~ R3
--------	---------

日本財団他が主催する海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を活用し、モデル校で海を身近に感じ大切に学習を行う。
 様々な体験や教科学習から身近な環境も海や世界へとつながっているという広い視野を育て、公式や正解のない問いを考え、実践へつなげる力を身につける。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 各モデル校テーマと代表的な学習活動
 モデル校5校が各校テーマに沿って、海を身近なものとして学ぶ教科を実施
 ・田川小学校「人の暮らしと川」犀川通船の歴史を学ぶ、川下り体験
 ・鎌田小学校「人と地域と水」水の行方学習、手作り舟にのろう
 ・芳川小学校「地域の特色を生かした持続可能な海洋教育」四ヶ堰学習
 ・安曇小学校「梓川・上高地とつながる海」上高地学習、梓川体験学習
 ・波田小学校「梓川に親しむ」上高地での梓川源流体験
- 推進協議会による研修会
 面的な活動を推進するため、推進協議会を設置し、モデル校担当教員の情報交換や研修会を企画、実施
 ・6月25日「海洋教育のこれからについて」
 講師：東京大学海洋教育センター特任教授 日置光久氏
 ・12月19日～20日各校担当者との意見交換
 助言者：東京大学海洋教育センター特任講師 田口康大氏
 ・1月31日各校実施報告及び意見交換会
 ・3月2日「海のめぐみをいただきます！」展の活用について
 講師：お茶の水女子大SEC特任講師 渡辺友美氏
- 環境教育支援団体による地域人材等のコーディネートを行い、社会資本を学校教育に活用するとともに、教員の負担を軽減

< 現状に対する認識 >

・海が無い地域での海洋教育実践について、体験活動だけでなく社会や理科といった教科での学びを充実していく必要がある。
 ・様々な教科の学びを「海」で結びつけることによって、新たな問が生まれ探究を深めるといった主体的な学びの体系構築に引き続き取り組み、持続可能な教育課程を目指す。
 ・獲得を目指す学力は、筆記試験などで点数化が困難なため適切な成果指標も推進協議会などで引き続き検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	海洋教育モデル校数				
指標の設定理由	新規事業のため成果を集約検討中、今後適切な指標へ更新していく				
目標値				5	5
実績値				5	
達成度	-	-	-	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				2,254	1,420
国・県					
利用者負担金					
その他				2,254	1,420
一般財源					
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0
正規	0	0	0	7,600	1
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	9,854	1,420
前年度比	-	-	-	-	-

学校教育課

課長 上條 公德

事務事業評価票

事務事業名	美ヶ原少年自然の家管理
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美ヶ原少年自然の家管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自然との関わりや集団生活を通じて、青少年の健全な心身発達を図る。
(キャンプ、交流会、研修会等)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 施設概要
・位置:松本市入山辺8961-1358
・収容人数:150人
・利用料:730円(一泊) 中学生以下無料
2 利用状況
・市内小学校5年生キャンプ利用者数:23校 2,081人
・一般団体への貸出件数:14件427名(市関係団体、スポーツ団体、大学ゼミサークル)
・個人への貸出 3件6名

< 現状に対する認識 >

娯楽の多様化により、青少年の自然体験をする機会が減っている中で、自然の中で遊ぶ、学ぶ、気づく機会を与えられる施設である。県外からの利用はSNSなどの情報から多くなっているが、市民の団体利用が少ない。ホームページに写真を多く入れて宣伝をしたり、地区公民館事業とタイアップしたりして利用促進を図りたい。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(過去の実績値から設定)				
目標値	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
実績値	2,648	2,584	2,636	2,514	
達成度	78.8%	76.9%	78.5%	74.8%	-
成果指標(指標名)	施設利用率(利用日数/開館日数)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(開館日数190日)				
目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
実績値	41.5	44.7	41.6	42.6	
達成度	89.4%	96.3%	89.7%	91.8%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,156	3,343	4,138	4,241	4,270
国・県					
利用者負担金	41	52	147	151	120
その他					
一般財源	3,115	3,291	3,991	4,090	4,150
人件費(千円)	3,619	3,649	3,705	3,740	
正規	769	759	755	760	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
合計コスト +	6,775	6,992	7,843	7,981	4,270
前年度比	-	103.2%	112.2%	101.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	教職員住宅管理
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	教職員住宅管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教職員住宅の維持管理を適正に執行することで、教職員の住環境の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 教職員住宅の維持・補修
保有棟数54棟153戸(令和2年3月現在)
- 2 空き家となった敷地の維持管理
- 3 R1実績 老朽化した教員住宅の解体
2棟6戸
里山辺荒町教員住宅(里山辺地区)
寿教員住宅(南棟)(寿地区)

< 現状に対する認識 >

- ・安曇・奈川の需要のある住宅は改修をして住みやすい環境を提供する必要がある。
- ・入居の見込めない住宅については、解体後、積極的に売却を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	入居戸数(戸)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26実績値)				
目標値	90	84	84	84	84
実績値	69	65	60	59	
達成度	76.7%	77.4%	71.4%	70.2%	-
成果指標(指標名)	入居率(入居戸数/全戸数)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26入居戸数を基に設定)				
目標値	36.7	50.9	50.9	50.9	50.9
実績値	31.5	39.4	37.7	38.5	
達成度	85.8%	77.4%	74.1%	75.6%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	37,027		56,791		26,601		21,564		9,190	
国・県										
利用者負担金	16,386		18,951		14,679		13,000		13,910	
その他										
一般財源	20,641		56,702		11,922		8,564		0	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	40,103		59,827		29,621		24,604		9,190	
前年度比	-		149.2%		49.5%		83.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (小学校)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

【活動事例】

○総合分野

・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)

・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人1鉢づくり等)

・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等

○エコロジー分野

・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校内緑化活動等)

・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)

・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

< 現状に対する認識 >

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組み状況が把握できるため				
目標値	28	28	28	29	29
実績値	28	28	28	29	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	8,002	7,901	8,254	8,272	8,890					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,002	7,901	8,254	8,272	8,890					
人件費(千円)	77	人工 75.9	人工 75.5	人工 76	人工					
正規	77	0.01	75.9	0.01	75.5	0.01	76	0.01		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,079	7,977	8,330	8,348	8,890					
前年度比	-	98.7%	104.4%	100.2%	-					

事務事業評価票

事務事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業(小学校)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施

認定者数(R元年度)
・1,463人(全児童数:12,355人、11.8%)

< 現状に対する認識 >

就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な児童についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	生活困窮家庭の児童を援助するので目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	125,389		134,129		127,170		125,509		119,940	
国・県	166		56		58		43		70	
利用者負担金										
その他										
一般財源	125,223		134,073		127,112		125,466		119,870	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	128,465		137,165		130,190		128,549		119,940	
前年度比	-		106.8%		94.9%		98.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(小学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。

- 1 援助項目
学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部
- 2 認定者数(令和元年度)
416人(うち支弁区分 23人)
支弁区分 : 世帯の収入額が基準を超えているため、援助項目交通費の保護者負担額の1/2のみが援助対象のもの

< 現状に対する認識 >

障害のある児童生徒の就学について、特殊事情にかんがみ、保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	8,471	9,206	11,600	12,414	13,690	
国・県	3,916	4,282	5,326	5,790	6,200	
利用者負担金	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	4,555	4,924	6,274	6,624	7,490	
人件費(千円)	385	759	1,510	1,520		
正規	385	0.05	759	0.1	1,510	0.2
嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト +	8,856	9,965	13,110	13,934	13,690	
前年度比	-	112.5%	131.6%	106.3%	-	

事務事業評価票

事務事業名	遠距離児童通学 (小学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離児童通学費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

徒歩・自転車通学が困難な児童のために通学費を扶助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

遠距離(原則4km以上)により徒歩・自転車通学が困難な児童のために、バス、タクシーの借上げや路線バス、電車の定期代、地域公共交通の利用を扶助する。(R1対象児童数:478名)

- バス借上げ 352名
対象校:山辺小学校、本郷小学校、四賀小学校、梓川小学校
- バス運行委託 2名
対象校:大野川小学校
- タクシー借上げ 4名
対象校:波田小学校、島内小学校
- 路線バス(定期券扶助) 11名
対象校:安曇小学校、大野川小学校
- 電車(定期券扶助) 109名
対象校:波田小学校
- 地域公共交通利用(路線バス) 250名(バス借上げ対象者との重複含む)
対象校:四賀小学校、梓川小学校

< 現状に対する認識 >

通学に困難な児童のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	58,455	59,357	59,905	56,444	66,430
国・県	1,631	1,736	1,532		
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	56,824	57,621	58,373	56,444	66,430
人件費(千円)	769	769	755	760	
正規	769	769	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
合計コスト +	59,224	60,126	60,660	57,204	66,430
前年度比	-	101.5%	100.9%	94.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[負担金実績]

県小学校長会 523,600円
 県中学校長会、県特別支援学校長会、県高等学校長会その他教育機関、教育諸団体と連携し、教育課題の研究、協議を行う。
 県中学校長会 470,550円
 県小学校長会と同様に、全県的な情報収集・情報交換により、県下各中学校の諸課題の究明と時代に即した学校運営のため、研究、協議を行う。
 県学校保健会 157,500円(小学校)、90,500円(中学校)
 調査研究をとおして学校保健の普及進展を図り、児童生徒及び幼児の心身の健康増進に寄与する活動を行う。
 県図書館協会 103,600円(小学校)、59,200円(中学校)
 調査研究をとおして図書館運営・図書館教育の充実、向上を図る。
 県統計教育研究協議会 33,600円(小学校)、19,200円(中学校)
 統計教育に関する図書の発行や資料の刊行のほか、研究会の開催等を行い、統計教育の推進、普及を図る。
 県公立小中学校事務研究会 84,000円(小学校)、48,000円(中学校)
 学校事務の研究をとおして学校事務職員の資質向上を図り、教育並びに教育行政の進展に寄与する活動を行う。

< 現状に対する認識 >

・学校教育の充実・向上を図るために必要な負担金であると認識。ただし、必要性については随時検討を行っていきたい。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	19,067		18,850		23,377		17,637		24,254	
前年度比	-		98.9%		124.0%		75.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[負担金実績]

中信小学校管楽器研究会 0円(台風により中止)
 中信地区で管楽器の演奏活動を行う児童が集い、講習会、演奏会をと
 おして交流や親睦を深める。
 県へき地地域振興協議会 4,300円
 県のへき地教育の進展への寄与を目的に、へき地学校に勤務する職員
 の研修をととしてへき地の教育条件の整備促進を行う。
 長野県視覚放送教育研究会 168,004円(小学校)、79,314円(中学校)
 視聴覚教育・放送教育・情報教育についての研究、協議のほか、教材、機
 材の講習等を行い、教育の進展に寄与する活動を行う。
 病弱虚弱教育連盟 1,000円(小学校)、1,000円(中学校)
 病弱虚弱教育の研究と発表活動を行い、同教育の普及を推進するとと
 もに、会員相互の連携を図る。
 鉢盛中学校 13,124,000円
 3市村(松本市、山形村、朝日村)で構成する中学校組合及び組合立鉢盛
 中学校を運営する。
 県中学校体育連盟 1,160,800円
 県内の中学校が参加する各種競技大会の運営、実施のほか、中学校の部
 活動に係る協議、研究を行う。

< 現状に対する認識 >

・学校教育の充実・向上を図るために必要な負担金であると認識。ただし、必要
 性については随時検討を行っていきたい。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	19,067		18,850		23,377		17,637		24,254	
前年度比	-		98.9%		124.0%		75.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[負担金実績]

県吹奏楽連盟 102,000円
 県内の中学校吹奏楽部が参加する講習会及びコンクール等を運営、実施する。

県中学校高等学校連絡会 28,500円
 学力検査連絡会等を行い、旧第11通学区における中学校と高校の連携を図る。

松本市幼年教育研究会 134,400円
 幼・保・小の一貫した教育の立場で、松本市幼年教育の発展向上のための研究、調査研究活動を行う。

教科用図書採択研究協議会 484,000円
 8市村で構成する松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会による教科書の採択及びそれに係る研究協議を行う。

< 現状に対する認識 >

・学校教育の充実・向上を図るために必要な負担金であると認識。ただし、必要性については随時検討を行っていきたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,298		18,091		22,622		16,877		24,254	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	19,067		18,850		23,377		17,637		24,254	
前年度比	-		98.9%		124.0%		75.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校営繕(小学校)
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校施設の整備と保守を行い、児童の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校施設の整備及び保守。

- (例)
- プール給水管の漏水改修工事(梓川小学校)
 - 割れたガラスの修繕(二子小学校ほか)
 - 階段の手すり設置(波田小学校)

< 現状に対する認識 >

児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて臨機応変に実施するものであり目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	70,293		70,136		70,300		70,300		71,160	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	70,293		70,136		70,300		70,300		71,160	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	70,678		70,516		70,678		70,680		71,160	
前年度比	-		99.8%		100.2%		100.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	授業用校用備品充実整備(小学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 授業用消耗品購入
各校に必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入
- 2 学校用備品購入
各校に必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入
理科備品、吹奏楽器を計画的に購入
- 3 図書購入
児童用・教師用図書の購入
- 4 学校ICT機器の充実
児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(児童使用用)、校務用PC教職員1人1台、タブレット端末各校6~21台をリース契約で配備

< 現状に対する認識 >

・学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
・ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
・ICT機器については概ね5年ごとに更新。
国が示すICT機器の整備水準に達していないため計画的に整備を行う必要がある。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	備品の不足や更新による整備であり目標設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	234,358		244,763		256,922		276,480		225,480	
国・県			168		5,336		4,906		5,240	
利用者負担金										
その他										
一般財源	234,358		244,595		251,586		271,574		220,240	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	237,434		247,799		259,942		279,520		225,480	
前年度比	-		104.4%		104.9%		107.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (小学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各小学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

令和元年度学級数(令和元年5月1日現在) 26校 104学級
安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(R1実績)

- ・消耗品費 2,113千円
- ・備品購入費 1,781千円
- ・負担金 52千円

研究会、協議会等の開催をとおして障害のある児童生徒に対する教育と福祉の向上普及につとめ、その教育に関する研究の推進、発展に寄与する。

< 現状に対する認識 >

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	2,954	3,257	3,528	3,946	4,480	
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,954	3,257	3,528	3,946	4,480	
人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	3,031	3,333	3,604	4,022	4,480	
前年度比	-	110.0%	108.1%	111.6%	-	

事務事業評価票

事務事業名	学校施設整備事業 (小学校費 + 中学校費)
-------	---------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童が安全、安心な学校生活を送るために、学校施設の整備と保守を行い、教育環境を充実させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

(令和元年度実施事業)

- 鎌田小学校プレハブ校舎設置に伴う付帯工事
音楽室棟設置に伴う児童動線整備や、旧音楽室を特別支援学級への模様替え工事をおこなうもの
- 並柳小学校グラウンドスロープ設置工事
車いす利用児童や保護者への配慮のため、校舎とグラウンド間にスロープを設置するもの

< 現状に対する認識 >

施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて適宜実施するものであり、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	72,742		58,865		37,875		13,560		10,230	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	72,742		58,865		37,875		13,560		10,230	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	74,280		60,383		39,385		15,080		10,230	
前年度比	-		81.3%		65.2%		38.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(小学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R2

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
体育館の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(体育館:H28完了)
教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(調査・診断・設計はH30までに完了、工事はR1:12校実施、R2:13校実施予定)
- 3 防災機能強化
避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
中間教室あずさの家の解体(H29完了)

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(施工済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	-	-	12	25	25
実績値	-	-	0	12	-
達成度	-	-	0.0%	48.0%	-
成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(調査設計済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	12	24	25	-	-
実績値	12	24	25	-	-
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	52,209		12,484		540		46,204		179,440	
国・県	15,971		0		0		37,187		164,310	
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,238		12,484		540		9,017		15,130	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	1,520	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	52,978		13,243		1,295		47,724		179,440	
前年度比	-		25.0%		9.8%		3685.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	暖房機更新事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	暖房機更新事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い > 事業計画年度 H14 ~ R6

児童生徒の学校生活に直接かかわる暖房機を計画的に更新し改善していくことで、故障を回避し安全性を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小中学校FF式暖房機の更新
 更新計画に基づき小学校と中学校のFF式暖房機を更新
 第2期(平成21年度~)更新分2,578台の62.58%が完了(令和元年度
 令和6年度までに2,578台を更新予定(耐用年数15年)

< 現状に対する認識 >

計画通りに更新ができています。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	暖房機の更新率(%)				
指標の設定理由	事業の成果を端的に評価できるため				
目標値	45.42	50.33	55.16	62.58	68.94
実績値	45.42	50.33	55.16	62.58	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	20,455		20,963		24,074		32,155		32,820	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,455		20,963		24,074		32,155		32,820	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	21,993		22,481		25,584		33,675		32,820	
前年度比	-		102.2%		113.8%		131.6%		-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	プール整備事業 (小学校費 + 中学校費)
-------	--------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	プール整備事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	H1 ~
学校プール施設の老朽化、機能低下に対応するため、改築工事又は改修工事を行い、教育環境の改善及び建物耐久性の確保を図るもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・R元年度プール改築 清水中(昭和38年建築、水面積340㎡、7コース)

< 現状に対する認識 >

・学校におけるプールの必要性を検討して、今後の改修・改良については整備計画の抜本的な見直しを含め、慎重に進める。
--

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	プール改築完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	0	1	
達成度	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	プール改修完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	2	2	2	0	1
実績値	2	2	2	0	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	222,260	195,588	24,386	179,360	0
国・県	21,882	20,516		22,636	
利用者負担金					
その他				124,100	
一般財源	200,378	175,072	24,386	32,624	0
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	223,029	196,347	25,141	180,120	0
前年度比	-	88.0%	12.8%	716.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (中学校)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

[活動事例]

- 総合分野
 - ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)
 - ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人1鉢づくり等)
 - ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等
- エコロジー分野
 - ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等)
 - ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)
 - ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

< 現状に対する認識 >

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組み状況が把握できるため				
目標値	20	20	20	21	21
実績値	20	20	20	21	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,686		8,358		8,533		8,435		10,070	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,686		8,358		8,533		8,435		10,070	
人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工	76	人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01	76	0.01		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,763		8,434		8,609		8,511		10,070	
前年度比	-		96.2%		102.1%		98.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(姫路市・松本市中 学生交歓キャンプ)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

姉妹都市である姫路市と松本市の中学生が合宿生活を営むことによって、相互の親睦を図り、友情を深めながら交流の輪を広げ、もって姉妹都市交流の实をあげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 参加者
松本市及び姫路市の中学生35名ずつ、計70名及び教職員
- 日程
夏休み期間中3泊4日
- 実施内容
松本市での開催時は、上高地の散策や松本城等市内を散策。
姫路市での開催時は、姫路城の見学、海洋体験等を実施。
- その他
松本市と姫路市で毎年相互に開催。昭和55年から実施している。

< 現状に対する認識 >

参加した生徒からは「交歓キャンプで築いた関係を大切にしたい。」「姫路市の魅力を知ることができた。」という感想が聞かれるなど、互いの文化への理解や友情の輪の広がりが見られることから、今後も継続した交流の必要が高いと認識している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	実施状況を数値として把握できるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	600		3,050		600		3,196		700	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	600		3,050		600		3,196			
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,138		4,568		2,110		4,716		700	
前年度比	-		213.7%		46.2%		223.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業(中学校)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。

- 1 援助項目
学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等
- 2 認定者数(R元年度)
912人(全生徒数: 5,831人、15.6%)

< 現状に対する認識 >

就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な生徒についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	生活困窮家庭の生徒を援助するので目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	126,613		111,180		107,139		96,300		95,910	
国・県	167		152		163		253		210	
利用者負担金										
その他										
一般財源	126,446		111,028		106,976		96,047		95,700	
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	130,458		114,975		110,914		100,100		95,910	
前年度比	-		88.1%		96.5%		90.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(中学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励事業

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。

- 1 援助項目
学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部
- 2 認定者数(令和元年度)
111人(うち支弁区分 7人)
支弁区分 : 世帯の収入額が基準を超えているため、援助項目交通費の保護者負担額の1/2のみが援助対象のもの

< 現状に対する認識 >

障害のある児童生徒の就学について、特殊事情にかんがみ、保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,558		4,558		5,910		6,091		9,030	
国・県	1,675		2,114		2,626		2,610		3,760	
利用者負担金	0		0		0		0			
その他	0		0		0		0			
一般財源	1,883		2,444		3,284		3,481		5,270	
人件費(千円)	385	人工	759	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	385	0.05	759	0.1	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,943		5,317		7,420		7,611		9,030	
前年度比	-		134.9%		139.6%		102.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	遠距離生徒通学 (中学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離生徒通学費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

徒歩・自転車通学が困難な生徒のために通学費を扶助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

遠距離(原則6km以上)により徒歩・自転車通学が困難な生徒のために、バス、タクシーの借上げや路線バスの定期代、地域公共交通利用を扶助する。
(R1対象生徒数:104名)

- バス借上げ(80名)
対象校:山辺中学校、会田中学校、梓川中学校
- タクシー借上げ(15名)
対象校:女鳥羽中学校
- 路線バス(定期券扶助)(9名)
対象校:安曇中学校、大野川中学校
- 地域公共交通利用(路線バス)(49名)(バス借上げ対象者との重複含む)
対象校:会田中学校、梓川中学校

< 現状に対する認識 >

通学に困難な生徒のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	13,572	13,903	12,626	11,348	15,490
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	13,572	13,903	12,626	11,348	15,490
人件費(千円)	769	769	755	760	
正規	769	769	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
合計コスト +	14,341	14,672	13,381	12,108	15,490
前年度比	-	102.3%	91.2%	90.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	学校営繕(中学校)
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校施設の整備と保守を行い、生徒の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校施設の整備及び保守。

(例)

台風被害の修復(フェンスなど)(梓川中学校ほか)
 老朽化した給水加圧ポンプの更新(明善中学校)
 老朽化した放送設備の改修(筑摩野中学校)

< 現状に対する認識 >

生徒のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて臨機応変に実施するものであり目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	52,912		52,124		52,500		52,500		53,620	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	52,912		52,124		52,500		52,500		53,620	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	53,297		52,504		52,878		52,880		53,620	
前年度比	-		98.5%		100.7%		100.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	授業用校用備品充実整備(中学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 授業用消耗品購入
各校に必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 2 学校用備品購入
各校に必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
理科備品、吹奏楽器を計画的に更新。
- 3 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 4 学校ICT機器の充実
児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(生徒使用用)、校務用PC教職員1人1台、タブレット端末各校6~21台をリース契約で配備。

< 現状に対する認識 >

・学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
・ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
・ICT機器については概ね5年ごとに更新。
国が示すICT機器の整備水準に達していないため計画的に整備を行う必要がある。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	備品の不足や更新により整備するものであり目標設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	168,342		169,985		189,716		212,155		186,510	
国・県			1,133		4,758		4,052		3,080	
利用者負担金										
その他										
一般財源	168,342		168,852		184,958		208,103		183,430	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	170,649		172,262		191,981		214,435		186,510	
前年度比	-		100.9%		111.4%		111.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (中学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各中学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

令和元年度学級数(令和元年5月1日現在) 16校 49学級
安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(R1実績)

- ・消耗品費 908千円
- ・備品購入費 800千円
- ・負担金 34千円

研究会、協議会等の開催をとおして障害のある児童生徒に対する教育と福祉の向上普及につとめ、その教育に関する研究の推進、発展に寄与する。

< 現状に対する認識 >

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,574		1,721		1,817		1,742		2,270	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,574		1,721		1,817		1,742		2,270	
人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工	76	人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01	76	0.01		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,651		1,797		1,893		1,818		2,270	
前年度比	-		108.8%		105.3%		96.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(中学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R2

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
体育館の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事(体育館:H28完了)
教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事(調査・診断・設計はH30までに完了、工事はR1:7校実施、R2:8校実施予定)
- 3 防災機能強化
避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
中間教室あずさの家の解体(H29完了)

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(施工済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	-	-	7	15	15
実績値	-	-	0	7	
達成度	#VALUE!	#VALUE!	0.0%	46.7%	-
成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(調査設計実施校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	7	14	15	-	-
実績値	7	14	15	-	-
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	4,114		4,320		603		76,719		88,650	
国・県	0		0		0		71,885		77,000	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,114		4,320		603		4,834		11,650	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	1,520	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	4,883		5,079		1,358		78,239		88,650	
前年度比	-		104.0%		26.7%		5761.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校施設長寿命化改良事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設長寿命化改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

国のインフラ長寿命化計画の策定を受け、学校施設についても大規模改造～延命へ転換し、築40年以上経過した施設を今後30年以上使用するため、構造体の耐久化とインフラ設備の更新を行うもの。また、建物の延命化により、建物更新時に係る費用の平準化を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 劣化度調査
建物の劣化の状態を調査し、事業実施の判断を行う。また、工事の概算工事費の算出をおこなう。
- 実施設計
劣化度調査をもとに、長寿命化改良工事の実施設計をおこなう。
- 工事
長寿命化改良工事の実施(工期 2年～3年)
- H29実績
劣化度調査を中学校1校で実施
- H30実績
長寿命化改良計画(個別施設計画)策定のため、劣化度調査を行っていない139校について劣化状況調査を実施し、長寿命化改良計画(案)を作成した。
- R元年実績
長寿命化改良工事の他改築・解体予定校も含めた全体計画の中で見直し検討を行った。

< 現状に対する認識 >

施設の劣化状況を踏まえながら、平準化かつ、再配置計画を見据えた長寿命化改良計画を策定し、その計画に沿って進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の整備率(完了棟数/予定棟数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度	-	-	-	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	35,802		8,532		31,125		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,802		8,532		31,125		0			
人件費(千円)	769	人工	759	人工	2,265	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	2,265	0.3	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	36,571		9,291		33,390		760		0	
前年度比	-		25.4%		359.4%		2.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	補助金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

保護者の負担を軽減し、私立学校等の振興をはかるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【補助実績】

1 私立高等学校運営費補助金 13,233,600円
 私立高等学校及び中等教育学校(後期課程)における奨学と振興を図るため、高校等に対し補助するもの。
 松商学園高等学校(3,445,300円)
 松本第一高等学校(2,267,200円)
 松本国際高等学校(1,848,100円)
 エクセラン高等学校(1,551,100円)
 信濃むつみ高等学校(1,465,300円)
 松本秀峰中等教育学校(1,415,800円)
 東京都市大学塩尻高等学校(1,168,200円)
 海大学付属諏訪高等学校(72,600円)
 定額補助(市内に設置された高校)……………1校あたり年額1,000千円
 生徒数割り補助(本市に住所を有する生徒が在籍する高校)
 ……………生徒1人あたり年額3,300円

2 朝鮮学園運営費補助金 2,007,800円
 学校法人長野朝鮮学園に通う子どもたちが、日本人の子どもたちと同程度に等しく教育を受けるために補助するもの。
 初中級学校分 定額補助1,000千円 + 生徒数割補助118,800円 (@3,300円 × 36人)
 付属幼稚園分 定額補助 700千円 + 園児割補助189,000円 (@27,000円 × 7人)

< 現状に対する認識 >

保護者負担の軽減を図るため、今後も継続して実施予定。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	58,387	15,706	15,147	15,241	15,860					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,387	15,706	15,147	15,241	15,860					
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	59,925	17,224	16,657	16,761	15,860					
前年度比	-	28.7%	96.7%	100.6%	-					

事務事業評価票

事務事業名	補助金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

保護者の負担を軽減し、私立学校等の振興をはかるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【補助実績】

3 海外留学生奨学金 0円
海外に留学する学生を援助するために補助するもの。
@80,000円 × 0名分 = 0円

4 私立学校校舎等建築事業補助金 0円
松本市に学校を設置する学校法人が行う校舎等の建築事業に要する経費に対して補助するもの。
令和元年度 交付実績なし
参考:H29 創造学園高等学校移転改築工事 10,000千円
H27 松本調理師製菓師専門学校改修工事 10,000千円 等

5 私立高等学校教育用設備整備事業補助金 0円
私立高等学校及び中等教育学校(後期課程)が行う教育用設備の整備事業に要する経費に対し補助するもの。
令和元年度 交付実績なし

< 現状に対する認識 >

保護者負担の軽減を図るため、今後も継続して実施予定。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	58,387	25,706	15,147	15,241	15,860
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	58,387	25,706	15,147	15,241	15,860
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,520	
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
合計コスト +	59,925	27,224	16,657	16,761	15,860
前年度比	-	45.4%	61.2%	100.6%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	児童生徒保健管理
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒及び教職員の健康管理をするため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 児童生徒及び教職員の健康管理・健康教育
児童生徒及び教職員健康診断の実施等
- 近年増加している子どもの生活習慣病の予防対策
小学4年生、中学2年生の血液検査の実施
- 健康管理上必要な検査の実施や消耗品、検査機器購入等
学校環境衛生検査(ホルムアルデヒド等)、保健室用消耗品、備品の購入

< 現状に対する認識 >

児童生徒の健康管理のため、法改正等に則りながら継続して事業を実施していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	健康診断を実施した児童生徒数				
指標の設定理由	健康管理できている児童生徒数を数値化して客観的に把握できるため。				
目標値	18,859	18,541	18,355	18,182	18,028
実績値	18,720	18,415	18,248	18,079	
達成度	99.3%	99.3%	99.4%	99.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	58,767		51,857		51,354		52,569		56,112	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,767		51,857		51,354		52,569			
人件費(千円)	6,152	人工	6,072	人工	6,040	人工	6,080	人工		人工
正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8	6,080	0.8		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	64,919		57,929		57,394		58,649		56,112	
前年度比	-		89.2%		99.1%		102.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	災害共済給付事務
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	災害共済給付事務

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

スポーツの振興及び児童、生徒の健康の保持促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小学校、中学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付に係る事務

[令和元年度]

児童生徒災害共済掛金(歳出)・・・16,814,685円

児童生徒災害共済掛金負担金(歳入)・・・4,770,300円

< 現状に対する認識 >

継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	学校事務を支援する内部事務であり目標値設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	17,635		17,335		17,161		16,814		16,700	
国・県										
利用者負担金	4,858		4,855		4,804		4,770		4,720	
その他										
一般財源	12,777		12,480		12,357		12,044		11,980	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	19,942		19,612		19,426		19,094		16,700	
前年度比	-		98.3%		99.1%		98.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(小学校)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市に住所を有する小学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

[令和元年度実績]

個人 25件 190,000円
 団体 1件 342,500円

< 現状に対する認識 >

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,000		3,325		1,982		532		3,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,000		3,325		1,982		532		3,000	
人件費(千円)	759	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	2,759		4,084		2,737		1,292		3,000	
前年度比	-		148.0%		67.0%		47.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(中学校)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市に住所を有する中学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

[令和元年度実績]

個人 9件 75,000円
 団体 8件 1,629,434円

< 現状に対する認識 >

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,939		3,390		3,364		1,704		3,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,939		3,390		3,364		1,704		3,000	
人件費(千円)	759	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,698		4,149		4,119		2,464		3,000	
前年度比	-		112.2%		99.3%		59.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	空調設備整備事業 (小学校費 + 中学校費)
-------	---------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	空調設備整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30 ~

夏の猛暑による熱中症対策として学校施設にエアコンを設置し、児童生徒の学習空間及び教職員の執務環境の改善を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 対象校	冷涼地に存する大野川小中学校、奈川小中学校を除いた全小中学校
2 対象室	小学校 普通教室(1学年・2学年・特別支援)、特別教室(音楽室・図書室・PC室)、管理諸室(職員室・事務室) 中学校 特別教室(音楽室・図書室)、管理諸室(職員室・事務室)
3 その他	保健室(全小中学校)とPC室(一部の小学校と全中学校)は整備済
(令和元年度実施内容) 上記対象校の対象室について、全て工事契約を締結し、施工完了済。	

< 現状に対する認識 >

残りの未整備教室については令和2年度に実施

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	整備完了学校数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値			0	42	42
実績値			0	42	
達成度			-	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	1,344,696	2,943,040
国・県				251,060	653,691
利用者負担金					
その他				492,200	1,032,500
一般財源				601,436	1,256,849
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,510
正規	0		0	1,510	0.2
嘱託	0		0	0	3,800
				0.5	
合計コスト +	0	0	1,510	1,348,496	2,943,040
前年度比	-	-	-	89304.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	就学事務
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校教育法等に基づき、児童生徒の学齢簿の作成や、住民異動に伴う学籍・就学の管理を行うことにより、就学状況を把握するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

児童生徒の転入学、学籍等に関わる事務。

- ・学齢簿の整備
- ・通学区弾力化制度
- ・学校の指定
- ・指定校変更
- ・区域外就学
- ・外国籍児童生徒の就学

< 現状に対する認識 >

市内児童生徒の学齢簿等について、システムにより管理・処理することにより、正確かつ迅速な就学事務を行うことができている。
外国籍児童生徒の就学状況の確実な把握が課題となっている。
通学区弾力化制度については、引き続き利用状況の検証を行う。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	成果を求めるものではないため目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	3,076	人工	3,076	人工	3,076	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,076	0.4	3,076	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
			0							
合計コスト +	3,076		3,076		3,076		3,040		0	
前年度比	-		100.0%		100.0%		98.8%		-	

学校指導課

課長 高野 毅

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	人権教育推進事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒の人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てることを目指し、教職員を対象に推進委員会及び研修会等を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 学校人権教育研究協議会等
人権教育推進委員会全体会 2回
学校人権教育研究協議会(県中信教育事務所研修を市の研修として位置づけ)
参加実績(松本市参加者数/中信地区参加者数)
H29 51人/160人、H30 30/112人、R元 34人/119人
- 学校人権教育担当指導主事研修
人権リーダー養成・部落問題講座(長野市:3日間)に参加
- アセスメント研修
指導と評価(東京都)参加
- 学校人権教育実践記録発行
教師自身の豊かな人権感覚実践記録集
学校人権教育実践記録
- その他
交流体験教室(ボッチャと異文化交流)の開催
平和を祈る詩の朗読会への協力

< 現状に対する認識 >

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	307	154	189	125	260					
国・県	50									
利用者負担金										
その他										
一般財源	257	154	189	125	260					
人件費(千円)	100	人工	100	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	100	0.013	100	0.013	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	407	254	1,699	1,645	260					
前年度比	-	62.4%	669.0%	96.8%	-					

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

・特別な支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を整える。
 ・周囲の児童生徒への影響を最小限に抑え、安定した学級・学校経営へつなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本市心身障害児就学支援委員会の運営 令和元年度 7回開催 (6月20日、9月5日、10月3日、11月7日、12月12日、1月16日、2月13日) ・医療機関の診断書や知能検査(WISC-)結果を支援委員会での判断資料とした。 ・就学支援委員会への判断依頼件数 29年度321件、30年度353件、元年度412件
2 特別支援教育支援員の研修 元年度 2回開催(6月18日、11月18日) 自立支援教員、中間教室適応指導員と合同で実施
3 「ふれあい教育展」(特別支援教育展)の開催 特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習発表及び交流 地域との触れあいを通じて、特別支援教育への理解が深まることを期待して「ふれあい教育展」 の運営を業務委託 (委託先:松本市校長会特別支援教育担任者会、委託料:300千円) 和太鼓演奏の講師謝礼 120千円 指導回数9回(事務当番校:田川小学校) 「ふれあい教育展」開催内容 期日:10月11日(10月12日は台風接近のため中止) 会場:あがたの森公園 内容:学習活動で制作した作品の展示や販売活動、和太鼓演奏の発表等

障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮や基礎的環境整備等、インクルーシブ教育システムの構築の必要性が一層高まると考えられる。特別支援教育の充実に向け、関係職員の支援力向上や市民の特別支援教育に対する関心の向上に努めたい。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	38,066	626	773	1,172	960					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38,066	626	773	1,172	960					
人件費(千円)	308	人工	304	人工	5,120	人工	4,560	人工		人工
正規	308	0.04	304	0.04	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	0	0	0	0	590	0.2	0	0		
合計コスト +	38,374	930	5,893	5,732	960					
前年度比	-	2.4%	633.9%	97.3%	-					

事務事業評価票

事務事業名	英語指導助手配置事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	英語指導助手配置事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

外国人講師と会話をすることで、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。また、交流をはかることで異文化を知り、児童生徒の国際感覚の素地をつくること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 小学校
 中学年
 外国音声に慣れ親しませながら、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。
 高学年
 身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」「読む」「書く」の態度を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。

2 中学校
 文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝えあう学習を主に、身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。

ALT配置時間/年間	年度	H 30年度	H31年度	R 2年度
小学校3・4年(中学年)		15時間	15時間	18時間
小学校5・6年(高学年)		35時間	35時間	35時間
中学校各学年		25時間	25時間	25時間

< 現状に対する認識 >

・小学校の外国語活動においては、令和2年度からの新学習指導要領完全実施に備えて、H30年度からALTを配置し、準備を進めてきた。ALTが単独で指導をすることなく、担任とALTの連携の上で、より充実した外国語活動の授業を実施していく。
 ・中学校の英語教育においては、ALTの生きた英語に触れ、英語を用いたコミュニケーション能力の育成をより充実させる。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	51,890	51,883	60,445	61,060	67,430	
国・県						
利用者負担金						
その他		2,000	2,330	2,250	2,120	
一般財源	51,890	49,883	58,115	58,810	65,310	
人件費(千円)	158	人工	156	人工	1,510	人工
正規	158	0.0205	156	0.0205	1,510	0.2
嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト +	52,048	52,039	61,955	62,580	67,430	
前年度比	-	100.0%	119.1%	101.0%	-	

事務事業評価票

事務事業名	中間教室管理運営事業 (H28不登校児童生徒対策事業から名称変更)
-------	--------------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	不登校児童生徒対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

不登校やひきこもりがちな児童生徒への支援及び、学校復帰支援、教育相談に係る業務

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 鎌田中間教室、山辺中間教室、あかり教室(波田)の3中間教室を運営
- 中間教室通室児童・生徒数
平成29年度小4人・中39人、平成30年度小14人・中52人
令和元年度小26人・中42人(令和2年2月28日現在)
- 不登校支援アドバイザーによる学校訪問・支援(R2年1月4日現在)
学校訪問回数 小学校101回、中学校64回、計165回
訪問面談(校長、教頭、担任、保護者等)354回
- スクールソーシャルワーカーの派遣
学校訪問 小学校135回、中学校140回
支援会議 小学校78回、中学校40回
- 医療機関との連携による教育相談(元気アップ教育相談)
宮坂 義男医師担当:7月5日、10月11日、12月13日、2月7日
東 孝博医師担当:5月15日、9月18日、11月20日、1月15日

< 現状に対する認識 >

・生活の中で悩みを抱える児童生徒が増加する中で、市では1名のスクールソーシャルワーカーに、元気アップ教育相談の事前相談及び当日のサポートを依頼している。
・令和元年度からは、県から2名のスクールソーシャルワーカーが松本市へ派遣され、学校訪問を中心に、迅速かつきめ細やかな対応に努めている。
・児童生徒を取り巻く環境に注目し、問題の解決を図っていく。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,051	832	802	1,178	1,190
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,051	832	802	1,178	1,190
人件費(千円)	475	475	15,750	15,870	
人工					
正規	238	0.031	235	0.031	11,325
嘱託	237	0.083	240	0.083	4,425
					1.5
					1.5
合計コスト +	5,526	1,307	16,552	17,048	1,190
前年度比	-	23.7%	1266.3%	103.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	学校支援事業 (H28:一般管理から名称変更)
-------	----------------------------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校支援事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
学校教育の充実を目的に、教職員の能力向上及び児童生徒への教育支援事業に取り組むもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
<ol style="list-style-type: none"> 学校指導充実のための庶務的業務 公立小中学校への市費教職員の配置 自立支援教員(小学校・中学校) 中学校学力向上推進教員 特別支援教育支援員 特別支援教育支援員、看護支援員(医療的ケア)、日本語教育支援員、部活動指導員 中間教室適応指導員(山辺・鎌田・あかり) 教職員の能力向上のための研修 性教育に携わる小中学校養護教諭及び性教育担当教員向けの研修事業 市立学校教職員研修事業(講師:埼玉大学岩川直樹教授) 学校訪問指導6校、全体講演1回 講師の都合により未開催 指導主事会議 令和2年度に向けた小学校における年間指導計画の作成研修会及び「総合的な学習の時間」の全体計画(小・中学校)研修会(市内11校参加) 多言語通訳・翻訳(筆耕翻訳) 文化交流年絵画交換事業 R1版「わたしたちの松本市」副読本印刷配布(小学校3年生対象) 日本語を母語としない児童生徒支援事業(委託) コーディネーター2人 松本城・旧開智学校絵画コンクール事業 松本市校長会、教頭会への補助事業(校長会940,000円、教頭会150,400円) R1年度運動部活動改革プラン スポーツ庁が、各学校において持続可能な運動部活動が実施できるよう研究結果を周知・普及させることを目的に、運動部活動に関する実践・調査研究の委託事業 テーマ:「生徒のニーズの多様化に関する調査・実践研究」 スポーツ庁からの委託費 4,007,805円

< 現状に対する認識 >
<p>平成29年度より、小学校適応指導・学習指導改善教員及び中学校適応指導教員を「自立支援教員」と名称変更し、不登校やひきこもり状況の改善等に向けて、より充実した支援に取り組んでいる。</p> <p>・平成30年度より、中学校の部活動指導の充実を図り、働き方改革につなげるため、部活動顧問や大会の引率を行う部活動指導員を8校12人を配置。今後、導入効果の検証を行っていきたい。</p>

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市内全小中学校への自立支援教員の配置(山間小規模校を除く)				
指標の設定理由	第2次松本市教育振興基本計画による「施策1 学校教育の充実」に向けて				
目標値	-	41	41	41	41
実績値	-	28	28	31	
達成度	#VALUE!	68.3%	68.3%	75.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	国・県	1,050	567	5,181	6,013	4,820
	利用者負担金					
	その他					10
	一般財源	8,609	56,932	59,293	66,636	85,260
人件費(千円)	正規	3,153	3,112	17,590	17,718	
	嘱託	0	0	3,245	3,278	
合計コスト +	人工	0.41	0.41	1.9	1.9	
	前年度比	-	473.1%	135.4%	110.1%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(小学校)
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(小学校)

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

小学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、保護者負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 卒業音楽会(全6年生対象)
合唱の成果を発表する卒業音楽会の消耗品費の配当や送迎バスの手配等。
- 教育文化センター(全5年生対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。
なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)。
- 山間3校(安曇、大野川、奈川)の行事用送迎バスの手配
- 奈川小学校行事用運転業務委託

< 現状に対する認識 >

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,500		6,455		6,503		6,688		7,290	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,500		6,455		6,503		6,688		7,290	
人件費(千円)	81	人工	81	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	81	0.0105	81	0.0105	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	6,581		6,536		7,258		7,448		7,290	
前年度比	-		99.3%		111.1%		102.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	補助金(小学校)
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。 ・学校行事へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 小学校教科研究費補助
R1 学校割 @25,000円 × 28校 = 700,000円
教員割 @916円 × 644人 = 589,904円
市補助 1,289,904円
2 小学校鑑賞音楽会補助
R1 @200円 × 12,300人(児童数) = 2,460,000円
全事業費 11,786,946円
市補助 2,460,000円

< 現状に対する認識 >

小学校の教科研究においては、学校毎の特色のある研究目標に基づき、充実した研究を進め、児童へのより良い授業につなげている。 小学校の鑑賞音楽会においては、情操教育の一環として、児童が高度な音楽に触れる機会を支援し、豊かな感性の育成につながっている。
--

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	4,077	3,810	4,029	3,749	3,970					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,077	3,810	4,029	3,749	3,970					
人件費(千円)	33	人工	33	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	33	0.00425	33	0.00425	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	4,110	3,843	4,784	4,509	3,970					
前年度比	-	93.5%	124.5%	94.3%	-					

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(中学校)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(中学校)

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

中学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、学習経験や各種体験の提供と保護者負担の軽減を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 高崎市中学生交流事業
市内中学生と高崎市中学生の交流を図るもの。5月24日に旭町中学校にて龍華国民中学校訪問受け入れ。1月6日～10日に松本市内交流モデル5校の代表生徒20人が高崎市を訪問。
- 2 中学校体育連盟による市中大会
中学校体育大会事務局(当番校)への消耗品費や審判謝礼の配当。賞状の印刷や送迎バスの手配をするもの。
- 3 教育文化センター(全1学年対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 4 会田中学校水泳授業生徒送迎バス
当該中学校生徒をB & G四賀海洋センターへ送迎するもの。
- 5 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)
- 6 奈川中学校行事用車両運転業務委託

< 現状に対する認識 >

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,038	8,217	4,643	7,734	6,490
国・県					
利用者負担金		720		640	
その他					
一般財源	5,038	7,497	4,643	7,094	6,490
人件費(千円)	81	人工 81	人工 8,895	人工 8,956	人工
正規	81	0.0105 81	0.0105 8,305	1.1 8,360	1.1
嘱託	0	0 0	590 0.2	596 0.2	
合計コスト +	5,119	8,298	13,538	16,690	6,490
前年度比	-	162.1%	163.2%	123.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	補助金(中学)
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
 ・学校行事や山間校の部活動へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 中学校教科研究費補助
 R1 学校割 @25,000 × 19校 = 475,000円
 教員割 @1,012 × 400人 = 404,800円
 市補助 879,800円
- 2 中学校鑑賞音楽会補助
 R1 @400円 × 5,827人(生徒数) = 2,330,800円
 全事業費 5,405,400円
 市補助 2,330,800円
- 3 大野川中学校部活補助
 R1 60,000円

< 現状に対する認識 >

・中学校の教科研究においては、学校毎の特色のある研究目標に基づき、充実した研究を進め、生徒へのより良い授業につなげている。
 ・中学校の鑑賞音楽会においては、情操教育の一環として、生徒が高度な音楽に触れる機会を支援し、豊かな感性の育成につながっている。
 ・大野川中学校部活動への補助金は他の山間小規模校との統一を図り、R2年度以降は交付をしない方針で進める。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,382		3,316		3,282		3,270		3,230	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,382		3,316		3,282		3,270		3,230	
人件費(千円)	33	人工	33	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	33	0.00425	33	0.00425	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,415		3,349		4,037		4,030		3,230	
前年度比	-		98.1%		120.6%		99.8%		-	

学校給食課

課長 清澤 秀幸

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	アレルギー対応食提供事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～

食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒に対して、等しく学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 食物アレルギーを持つ児童・生徒一人ひとりの症状に合った対応食を提供
令和元年度提供者数 193人
- 各学校へアレルギー誤食事故事例など情報を提供し共有
- 食物アレルギー講演会を開催(3年に1回)し、保護者や学校関係者などへ医学的、栄養学的な面から最新の情報を提供
- 個別の懇談会等で食物アレルギーの最新情報を提供。また、経口負荷試験等解除の進め方を保護者向けに発信

(誤食事故の概要)

サラダのお代わりをしたところ、それに当日の主菜のアレルギー源でもある鮭の欠片が混ざっており誤食してしまったもの。

アレルギー対応食が本人のところに届いていた(和風パスタ)が、これは汁物だと本人が勘違いをして、除去するはずの一般食のパスタを食べてしまったもの。

アレルギー対応食は本人に届いていたが、除去するはずの一般食も配膳されており、両方食べてしまったもの。

< 現状に対する認識 >

アレルギー対応食提供者数は想定より少なく推移している。引き続き、アレルギー対応食提供者の保護者に対し、懇談会の際に現在の治療状況を確認し、解除に向かえるように情報提供や助言を継続していく。

学校現場での誤食事故予防のため、これまでの事故事例を会議などで報告をして、どうしたら事故予防ができるかの話し合いの場を設ける。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約 主な取組み	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	アレルギー対応食提供者数				
指標の設定理由	増加傾向にあるアレルギー対応食の解除に向けた取組み				
目標値	215.0	220.0	220.0	220.0	220.0
実績値	182	183	190	193	
達成度	84.7%	83.2%	86.4%	87.7%	-
成果指標(指標名)	誤食等事故件数				
指標の設定理由	安心安全な給食の提供				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	3	4	0	3	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	284		360		127		300		248	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	284		360		127		300		248	
人件費(千円)	29,630	人工	29,630	人工	39,050	人工	39,340	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	30,200	4	30,400	4		
嘱託	14,250	5	14,450	5	8,850	3	8,940	3		
合計コスト +	29,914		29,990		39,177		39,640		248	
前年度比	-		100.3%		130.6%		101.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営事業 (梓川給食センター)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～

市内(梓川地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 徹底した衛生管理の実施

2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

【梓川給食センター概要】

・提供校

梓川小、梓川中

・提供食数(令和元年度)

約1,470食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	17,468		16,016		16,291		16,121		17,254	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	17,468		16,016		16,291		16,121		17,254	
人件費(千円)	39,310	人工	39,030	人工	39,050	人工	39,340	人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4	30,400	4		
嘱託	8,550	3	8,670	3	8,850	3	8,940	3		
合計コスト +	56,778		55,046		55,341		55,461		17,254	
前年度比	-		96.9%		100.5%		100.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営事業 (四賀給食センター)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

市内(四賀地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 徹底した衛生管理の実施

2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

【四賀給食センター概要】

- ・提供校
四賀小、会田中
- ・提供食数(令和元年度)
約230食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,112		4,690		4,682		6,803		3,479	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,112		4,690		4,682		6,803		3,479	
人件費(千円)	23,930	人工	23,850	人工	23,950	人工	24,140	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	8,550	3	8,670	3	8,850	3	8,940	3		
合計コスト +	30,042		28,540		28,632		30,943		3,479	
前年度比	-		95.0%		100.3%		108.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営事業 (西部給食センター)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～

市内(西部センター管内)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 徹底した衛生管理の実施
- 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

【西部給食センター概要】

- 提供校
小学校:11校
(今井・開明・鎌田・寿・芝沢・島立・菅野・中山・二子・明善・芳川)
- 中学校:6校
(鎌田・信明・菅野・高綱・筑摩野・明善)
- 提供食数(令和元年度)
約8,630食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	230,627		206,506		194,666		326,460		326,895	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	230,627		206,506		194,666		326,460		326,895	
人件費(千円)	239,300	人工	238,500	人工	259,200	人工	261,220	人工		人工
正規	153,800	20	151,800	20	173,650	23	174,800	23		
嘱託	85,500	30	86,700	30	85,550	29	86,420	29		
合計コスト +	469,927		445,006		453,866		587,680		326,895	
前年度比	-		94.7%		102.0%		129.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営事業 (東部給食センター)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

市内(東部センター管内)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 徹底した衛生管理の実施
- 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

【東部給食センター概要】
 ・提供校
 小学校11校
 (旭町・岡田・開智・源池・島内・清水・田川・筑摩・並柳・本郷・山辺)
 中学校7校
 (旭町・開成・清水・松島・丸ノ内・女鳥羽・山辺)
 ・提供食数(令和元年度)
 約7,730食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	166,359		168,381		171,044		53,817		46,245	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	166,359		168,381		171,044		53,817		46,245	
人件費(千円)	239,300	人工	235,610	人工	224,400	人工	226,200	人工		人工
正規	153,800	20	151,800	20	135,900	18	136,800	18		
嘱託	85,500	30	83,810	29	88,500	30	89,400	30		
合計コスト +	405,659		403,991		395,444		280,017		46,245	
前年度比	-		99.6%		97.9%		70.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営事業 (波田給食センター)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～

市内(波田地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 徹底した衛生管理の実施

2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

[波田給食センター概要]

・提供校

波田小、波田中

・提供食数(令和元年度)

約1,410食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	21,482		21,530		22,703		22,428		18,479	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,482		21,530		22,703		22,428		18,479	
人件費(千円)	42,160	人工	41,920	人工	42,000	人工	42,320	人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4	30,400	4		
嘱託	11,400	4	11,560	4	11,800	4	11,920	4		
合計コスト +	63,642		63,450		64,703		64,748		18,479	
前年度比	-		99.7%		102.0%		100.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食管理運営事業 (自校給食校)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

市内(安曇、大野川、奈川地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)
【自校給食校】 ・安曇小中 約60食 ・大野川小中 約50食 ・奈川小中 約55食

< 現状に対する認識 >

事故等による給食停止が発生しないよう、引き続き、学校給食の提供を確保していく。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	11,480		10,888		12,240		11,003		11,340	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	11,480		10,888		12,240		11,003		11,340	
人件費(千円)	26,780	人工	26,740	人工	17,700	人工	17,880	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	0	0	0			
嘱託	11,400	4	11,560	4	17,700	6	17,880	6		
合計コスト +	38,260		37,628		29,940		28,883		11,340	
前年度比	-		98.3%		79.6%		96.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校給食施設改修事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食施設改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～

安定的な給食提供を行うため、老朽化した施設改修を計画的に実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 建築設備の更新、改修
 - (1) 四賀衛生設備の更新
- 2 機械設備の更新、改修
 - (1) 西部空調コイルの更新
 - (2) 西部電話設備の更新
 - (3) 西部調理場空調改修
 - (4) 西部上水加圧給水ポンプユニットの更新
 - (5) 西部サラダ室冷蔵庫
 - (6) 冷却機の更新

【対象施設】

- ・給食センター
西部、東部、梓川、波田、四賀
- ・自校給食施設
安曇小中、大野川小中、奈川小中

< 現状に対する認識 >

計画的な施設改修を実施し、引き続き、安全で安心な学校給食を安定的に提供する。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	施設設備の安定的な稼働				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	30,598	50,903	12,175	18,230	
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	0	30,598	50,903	12,175	18,230	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工
正規	0	0	0	0		
嘱託	0	0	0	0		
合計コスト +	0	30,598	50,903	12,175	18,230	
前年度比	-	-	166.4%	23.9%	-	

事務事業評価票

事務事業名	給食厨房設備更新事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	給食厨房設備更新事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H13~
--------	------

安定的な給食提供を行うため、老朽化した厨房機器、食器の更新を計画的に実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 厨房機器、食器の更新
 - 西部: 食器更新
 - 西部: 波田・四賀: 給食運搬コンテナ更新
 - 西部: 冷凍冷蔵庫更新
 - 安曇: 食器洗浄機更新
 - 大野川: 食器洗浄機更新
 - 大野川: 防虫カーテン購入
- 厨房機器のオーバーホールによる機器の延命化
 - 東部: 食器洗浄機オーバーホール
 - 波田: 食缶洗浄機オーバーホール

【対象施設】

- 給食センター
 - 西部、東部、梓川、波田、四賀
- 自校給食施設
 - 安曇小中、大野川小中、奈川小中

< 現状に対する認識 >

計画的な更新により、引き続き、安全で安心な学校給食を安定的に提供する。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	施設内の厨房機器のメンテナンスの徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	FALSE	16,235	54,938	54,003	72,550
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	23,258	16,235	54,938	54,003	72,550
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0
人工	0	人工	0	人工	0
正規	0	0	0	0	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	16,235	54,938	54,003	72,550
前年度比	-	-	338.4%	98.3%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食費会計公会計化事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食費会計公会計化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R1

学校事務の負担軽減、給食費会計の透明性、保護者負担の公平性、食材の安定購入等の諸課題の解決のため、「公会計」へ移行するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 関連例規の改廃
学校給食実施規則ほか
- 2 食品等選定委員会の設置と開催
委員10名を選任し、令和2年3月に1回開催
- 3 学校給食費システムの稼働及びデータ入力作業
保護者への口座振替登録の依頼、データ入力を実施
- 4 公会計化に係る保護者説明会の開催
保護者を対象にした説明会を年16回開催
- 5 給食物資納入業者説明会の開催
令和2年2月に1回開催

< 現状に対する認識 >

令和2年度からの円滑な移行のため、取組みを継続していく。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	口座振替登録者数				
指標の設定理由	徴収率を上げるための取り組み				
目標値	0.0	0.0	0.0	19,660	0.0
実績値	0	0	0	17,694	
達成度	-	-	-	90.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	3,029	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0	0	0	3,029	0
人件費(千円)	0	人工	0	人工	人工
正規	0	0	0	0	0
嘱託	0	0	0	0	2,980
					1
合計コスト +	0	0	0	6,009	0
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～

研修を通じて栄養士の知識・技術など資質の向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 長野県学校保健会学校栄養士部会負担金
栄養教諭・学校栄養職員 19名
- 長野県栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会負担金
第38回長野県栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会
学校給食の教育的意義を高めるとともに、食に関する指導の充実を期す
ための研修を行い、学校給食の向上発展を図ることを目的とする。
日 時:令和元年8月2日(金)
会 場:駒ヶ根「アイパル」
参加者:257名(上記、栄養教諭・学校栄養職員19名が参加)

< 現状に対する認識 >

・実例や科学的知見を研修することにより、より安全・安心な学校給食の提供につなげることができる。
・衛生管理や食の安全性に関する正しい知識・技術を深め、職場環境の改善につなげることができる。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	74		70		88		76		90	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	74		70		88		76		90	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	0	人工		人工
正規	0		0		0		0			
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	74		70		88		76		90	
前年度比	-		94.6%		125.7%		86.4%		-	

生涯学習課

課長 栗田 正和

事務事業評価票

事務事業名	青少年ホーム事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年ホーム事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

< 事業の狙い >

事業計画年度	H29 ~
--------	-------

15歳以上35歳未満の青少年を対象に、若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくりや仲間づくりを進めるとともに、ひきこもり状態の若者を含め、社会で生きていく力を培うもの。
また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 青少年ホーム事業
ヤングスクールを夏、秋、冬の3期に分けて各期約15講座開催
コーディネーターと連携し、ボードゲームカフェ、ウォーキングサッカー等の講座、イベントの実施
若者の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」として、スイーツづくり、おいしいコーヒーの入れ方、竹細工体験等の実施
若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所として「若者カフェ」の実施
若者が主体となり、若者が住んでみたいまちの魅力をつくりだす「松本若者会議」の実施
産業カウンセラー等ヤングキャリアメンターによる相談事業
高校生・大学生が主体となり、子どもが楽しく遊べる「子どもプレイパーク」の実施
- サークル活動 7サークルが活動中(スポーツ系5、文化系2)
- 利用者の会自主活動
交流事業
松本ぼんぼん、バーベキュー、運動会、ホーム祭等を自主企画
ボランティア活動
子どもまつり、成人式、なんなんひろば文化祭への参加

< 現状に対する認識 >

・若者が社会の中で孤立しないために、ひきこもり状態の若者も気軽に利用できる魅力ある居場所づくりの充実を図る。
・若者が社会と関わり、社会で活躍できるように、若者のまちづくりへのきっかけづくりを継続して進めます。
・青少年ホーム登録会員数は減少する傾向にありましたが、平成30年度からコーディネーターを配置し、講座、イベント等の充実を図り、平成30年度から2年間増加に転じました。今後も若者の多様なニーズに対応できるように、講座、イベントの充実を図る。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	登録者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	400	400	400	400	400
実績値	355	323	338	342	
達成度	88.8%	80.8%	84.5%	85.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,349	1,102	1,163	1,347	1,570
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,349	1,102	1,163	1,347	1,570
人件費(千円)	15,810	15,720	15,750	15,870	
正規	11,535	11,385	11,325	11,400	
嘱託	4,275	4,335	4,425	4,470	
合計コスト +	17,159	16,822	16,913	17,217	1,570
前年度比	-	98.0%	100.5%	101.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	生涯学習推進
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	生涯学習推進費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 主な取組み	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

学習活動で学んだ知識や技術が人と人との活動を通じた繋がりの中から地域へとひろがり、地域社会に活かされる松本らしい生涯学習施策を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第35回公民館研究集会
安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会をつくるため、住民・行政・地縁団体・市民活動団体などが集い、自ら考え、話し合い、行動する自治力の育み方、協働のあり方などを考え、まちづくりについて学び合う場として、地域づくり市民活動研究会とともに「未来へく私たちのまちづくりの集い」として開催した。市民提案による11の分科会が実施され、413人が参加した。
- 学びの森いんふぉめーしょん発行
市民及び関係機関などの生涯学習関連情報を収集し、情報誌「学びの森いんふぉめーしょん」を年4回(5月、8月、11月、2月)発行
- 地区独自事業
四賀地区夏祭り事業
旧四賀村からの継続事業として、地域活性化を目的に四賀地区住民が一堂に会する夏祭りを開催
梓川・御浜町(三重県)交流事業
旧梓川村の友好親善提携に基づき、梓川子ども会育成会と御浜町小学校5・6年生の交流を実施
安曇・松崎町(静岡県)交流事業
旧安曇村の姉妹都市である松崎町と安曇地区の交流事業として松崎中学校及び安曇中学校、大野川中学校2学年生徒の交流を実施

< 現状に対する認識 >

・公民館研究集会では、市民と職員とで協力して進める約半年間の企画準備を経て、当日は関係者・団体が一堂に会して議論し、得られた学習成果とネットワークは各地区の地域づくりに活かされている。
・学びの森いんふぉめーしょんでは、市内で開催される学習や活動している団体の情報提供から、市民の生涯学習機会の充実が図られている。
・地区事業では、合併前から継続する地域の魅力や特性を活かした活動により地域づくりが推進されている。
・それぞれの事業について、関係者の意見を聞きながら、内容の充実を図ってきたい。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市公民館研究集会への参加人数				
指標の設定理由	実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	1115	467	378	413	
達成度	223.0%	93.4%	75.6%	82.6%	-
成果指標(指標名)	学びの森生涯学習ファイルへの登録数				
指標の設定理由	活動状況を直接的に測定できるため				
目標値	600	600	600	600	600
実績値	576	578	562	606	
達成度	96.0%	96.3%	93.7%	101.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,028	4,310	4,349	4,318	4,400
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,028	4,310	4,349	4,318	4,400
人件費(千円)	25,780	25,622	25,660	25,854	
正規	19,225	18,975	18,875	19,000	
嘱託	6,555	6,647	6,785	6,854	
合計コスト +	29,808	29,932	30,009	30,172	4,400
前年度比	-	100.4%	100.3%	100.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	補助金(専修学校各種学校連合会補助金等)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修・各種学校教職員の能力向上を図るため補助金を交付するもの
- 町内公民館整備補助金
地域住民の活動拠点となる町内の集会施設の整備を図り、地域づくりの発展に寄与するため、施設の整備に対して補助金を交付するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修学校・各種学校に所属する教職員の能力向上のために行われる研修会に対し補助金を交付
(40,000円×11校)
- 町内公民館整備補助金
町内の集会施設(町内公民館)の整備(新築、改築、改修、建設用地取得、福祉関連・耐震補強整備など)について要望のある町会へ補助金を交付
(153件)

区分	補助率	限度額	実績	
新築・改築	1/2	10,000千円	3件	31,065千円
増築	1/2	6,000千円	0件	0千円
改修	1/2	5,000千円	86件	47,962千円
福祉・耐震	2/3	5,000千円	22件	21,411千円
土地取得	2/3	10,000千円	3件	7,815千円
建物取得	1/2	8,000千円	0件	0千円
借地・借家	1/2	50千円	39件	1,055千円
計			153件	109,308千円

< 現状に対する認識 >

・全町会を対象とした調査の結果、今後5年以内に公民館の建替えや改修を予定している町会は42%あり、このうち、改修が80%、新築6%、建替え・耐震補強が各5.4%である。
 ・充実してほしい補助項目として、一般改修が33%、耐震補強が27%、福祉関連整備が24%と、全体の84%が、既存建物の改修を要望している。
 ・上記を参考に、また、他市の状況も勘案しながら必要な検討を進め、社会情勢に即した支援を継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	専修学校・各種学校所属職員対象の研修会参加者数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	93	93	93	93	93
実績値	93	119	116	76	
達成度	100.0%	128.0%	124.7%	81.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	61,144	29,825	90,260	109,736	81,030
国・県			7,000	7,000	7,000
利用者負担金					
その他					
一般財源	61,144	29,825	83,450	102,736	74,030
人件費(千円)	3,076	3,036	4,530	4,560	
正規	3,076	3,036	4,530	4,560	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	64,220	32,861	94,790	114,296	81,030
前年度比	-	51.2%	288.5%	120.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	百竹亭管理
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	百竹亭管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

池上喜作氏の遺族から寄贈を受けた建物(住居、茶室、庭園等)を、社会教育施設として広く市民に提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 指定管理者の指定・管理委託
 民間の指定管理者により、効率的かつ効果的な管理運営を行い、更なる地域文化の振興を図る。
 指定管理者 (公社)松本地域シルバー人材センター
 自主事業・利用促進事業の実施
 ア 月1回(8・11・1~3月を除く)の月釜茶会
 イ 扇子・うちわ、湯たんぽ・ひざ掛けの無料貸し出しサービス
 ウ オープンガーデンへの参加
- 樹木剪定等業務委託
 定期的な樹木剪定・整備を実施し、茶庭(裏千家流儀)の景観を維持・保全する。
- 令和元年度利用状況
 開館日数:309日(月曜日及び12月29日~1月3日休館)
 利用人数:2,392人
 利用件数:185件

< 現状に対する認識 >

定期的に茶道・華道及び俳句会等の団体利用があり、他の利用も含め、市民の生涯学習の場となっている。
 松本城及び旧開智学校という国宝に近接し、観光客の回遊への期待が高まりつつある中で、文化財としての価値(登録有形文化財の申請等)を有する百竹亭の有機的な活用が期待される。一方、施設が老朽化し、利用者数は減少傾向するなど、取り巻く環境が変化しているため、現在、あり方検討を進めている。
 土地賃貸借契約期間が令和6年12月に満了する。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延利用者数(H27実績維持:人)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	4,029	4,029	4,029	4,029	4,029
実績値	3,605	2,978	2,765	2,392	
達成度	89.5%	73.9%	68.6%	59.4%	-
成果指標(指標名)	施設の利用率(利用日数/開館日数)(H27実績維持)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	79.9%	79.9%	79.9%	79.9%	79.9%
実績値	72.7%	69.6%	64.1%	55.0%	
達成度	91.0%	87.1%	80.2%	68.8%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,916		6,011		9,564		6,476		6,410	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,916		6,011		9,564		6,476		6,410	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	6,685		6,770		10,319		7,236		6,410	
前年度比	-		101.3%		152.4%		70.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

水力発電施設周辺地域の福祉の向上及びコミュニティーづくりと市民の生涯学習の推進を図る。
 民間の指定管理者により、効率的かつ効果的な管理・運営を行うとともに、社会教育施設として広く活動の場を提供します。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理者の管理委託 住民の会議、サークル活動、学校教育活動に係る施設の維持管理及び運営 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 自主事業の実施 ア 8月 乗鞍サマーセミナー (東京大学 石井直方教授、参加者61人) ふれあいパーク乗鞍フリーマーケット イ 10月 乗鞍地域防災訓練講習会 (参加者34名)
2 令和元年度利用状況 利用人数: 3,989人 利用件数: 207件

< 現状に対する認識 >

乗鞍地区は、安曇基幹集落センター(地区公民館)から車で30分程の距離があるため、当該施設は不可欠なコミュニティー施設です。
 指定管理者との連携により、現状を維持しつつ、高齢化・人口減少が進む地域性も考慮して、他都市との交流等、幅広い利用を促進させ地域活性化を図ります。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延利用者数(H27実績維持:人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,984	3,984	3,984	3,984	3,984
実績値	2,863	3,597	2,774	3,989	
達成度	71.9%	90.3%	69.6%	100.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,931		1,986		1,700		1,685		1,710	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,931		1,986		1,700		1,685		1,710	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,700		2,745		2,455		2,445		1,710	
前年度比	-		74.2%		89.4%		99.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	文化センター夢の森管理運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化センター夢の森管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

中山間地域の公民館活動及び地域づくりの拠点施設として、利用者が安心・安全に利用できるよう適正な管理を行い、市民福祉の増進と文化の向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容	奈川地区の公民館活動や地域づくりの拠点施設の維持管理及び運営
2 利用者数	会議室等 5,193人 図書室 1,573人 計 6,766人

< 現状に対する認識 >

当該施設は、建設後20年以上が経過し経年劣化が著しく、更新時期が超過した設備の故障等により維持管理に支障をきたしているため、今後、計画的に改修する必要がある。
 奈川地区の公共施設集約化も課題であり、大規模改修に合わせた対応を検討する。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	9,936	9,300	9,300	9,300	9,300
実績値	9,237	5,074	5,695	6,766	
達成度	93.0%	54.6%	61.2%	72.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	10,267		9,744		9,914		10,080		9,590	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,267		9,744		9,914		10,080		9,590	
人件費(千円)	2,678	人工	2,674	人工	2,646	人工	2,712	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,352	0.2	1,520	0.2		
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,294	0.4	1,192	0.4		
合計コスト +	12,945		12,418		12,560		12,792		9,590	
前年度比	-		95.9%		101.1%		101.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	あがたの森文化会館管理運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	あがたの森文化会館管理運営費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

あがたの森文化会館(重要文化財旧松本高等学校)を、市民の生涯学習・文化活動の拠点とするため、適切な保存及び改修等を進め、より一層の利活用を図ることを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 生涯学習活動促進事業
様々な世代の生涯学習活動を促進するため、主催自主事業を開催する。
- 文化会館貸館管理事業
貸館等により市民の学習活動を支援する。また、保存活用計画に基づいた環境整備を行う。
- 旧松本高等学校校舎耐震化事業
あがたの森文化会館は生涯学習の拠点として年間10万人を超える利用がある。利用者の生命を守るとともに、建物の良好な状態で保存するために、耐震補強工事を計画的に実施するもの。
・工事スケジュール
講堂3カ年本館4カ年の合計6カ年計画
講堂: 期工事(2018) 期工事(2019) 期工事(2020)
本館: 南棟東(2020)、南棟西(2021)、西棟(2022)、北棟(2023)

指標 = 利用者人数(人)
令和5年まで耐震工事による部分休館で利用者減が見込まれる。

< 現状に対する認識 >

校舎耐震改修工事以外にも電気機器(火災報知設備、電灯類等)、冷暖房機器の老朽化が目立ってきている。利用者の安全性や利便性、環境を保持するため、計画的な修繕や改修を行っていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	116,300	111,000	87,800	80,500	72,400
実績値	109,913	103,937	68,094	64,520	
達成度	94.5%	93.6%	77.6%	80.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	26,668	24,213	54,360	68,388	123,600
国・県	6,970	4,865	19,210	26,506	51,360
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,698	19,348	35,150	41,882	72,240
人件費(千円)	26,780	26,740	26,900	27,120	
人工	2	2	2	2	
正規	15,380	15,180	15,100	15,200	
嘱託	11,400	11,560	11,800	11,920	
合計コスト +	53,448	50,953	81,260	95,508	123,600
前年度比	-	95.3%	159.5%	117.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	単独学級講座事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独学級講座事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

暮らしや生活に関わる身近な課題やその課題解決に向けた学習・事業を実施し、住民自らが主体的に行動する力(自治と活力)を育みながら、安心して住みよい地域づくりを推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 概要	暮らしの質を高め誰もが安心して住みよい地域をめざすため、仲間づくりをはじめ、生活や暮らしに関わる身近な課題や地域の課題を解決するために、様々な講座や事業を開催
2 実施単位	中央公民館及び35地区公民館(主催事業や共催事業による実施)
3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・文化・スポーツ活動 ・暮らしと地域を見つめる講座・事業 ・世代間交流、外国籍住民支援 ・町内公民館の活動支援、サークル活動への支援 ・歴史の記録、学習会の記録、史跡の保護・保全

< 現状に対する認識 >

幅広い住民の草の根活動を支え、響き合う関係から、住民参加型社会の担い手を地域から生みだし、住民の自治力と活力の高揚が図られる。
 地域の様々な人材の掘り起しがされ、特色ある地域づくり活動の推進と地域の担い手、人材の育成が図られる。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公民館活動利用人数(学級・講座・諸集会等)(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	190,423	214,221	171,273	165,000	
達成度	105.8%	119.0%	95.2%	91.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	17,913	17,672	17,718	16,479	19,850
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,913	17,672	17,718	16,479	19,850
人件費(千円)	197,609	196,411	196,715	198,204	
正規	146,879	144,969	144,205	145,160	
嘱託	50,730	51,442	52,510	53,044	
合計コスト +	215,522	214,083	214,433	214,683	19,850
前年度比	-	99.3%	100.2%	100.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	公民館報作成事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公民館報作成事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

住民自らが「取材・編集する公民館の学習情報紙として、編集をとおして暮らしている地域に関心を持ち主体的に考え行動する力を育み、住民自治の醸成を支援するもの。また、住民と公民館・地域社会とを結びつけ、生活課題・地域課題の学習素材を提供するとともに、地域の生活史・公民館活動の記録史として、将来にわたり地域づくりのために保管・活用するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 住民が館報編集委員会(各地区・全市版)を組織し、館報を編集し年6回(奇数月の30日発行(全市版4頁、各地区版2頁) 広報まつもとと同時に配布 配布数89,691部/回
- 2 内容
学習資料、地域情報、地域づくりのための生活課題・地域課題の提供
公民館活動の広報
住民の声の発信
生活史・地域史としての史料 他

< 現状に対する認識 >

・住民や地域、行政の動きを知らせるとともに、学習活動の資料となっている。
 ・地域住民の声を反映し、地域の連帯と交流の推進を図ることができている。
 ・住民相互のつながりを深めながら、各地区の特色を生かした地域づくりの推進に向けた学習と討論、実践の学習教材となっている。
 ・編集委員が、編集活動を通して地域づくりに関わるきっかけやつながりを得ることができている。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間発行回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6	6	6	6	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	公民館委員数(館報編集委員)				
指標の設定理由	情報の多様性と地域づくり人材育成数につながるため				
目標値	297	297	297	297	297
実績値	297	297	319	350	
達成度	100.0%	100.0%	107.4%	117.8%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	18,449	18,449	18,448	18,623	18,780
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,449	18,449	18,448	18,623	18,780
人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	7,600	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	26,139	26,039	25,998	26,223	18,780
前年度比	-	99.6%	99.8%	100.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	芸術文化事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	芸術文化事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

多くの市民が気軽に楽しく文化芸術にふれあう機会を創出し、市民の主体的、継続的な文化芸術活動の促進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
松本市芸術文化祭事業
地域に根ざした文化芸術を育むために、「松本市芸術文化祭実行委員会」へ委託し通年発表会や公演、展示会を開催するもの

お城盆踊り
松本市の象徴、国宝松本城のもとで郷土愛を育み、市民と観光客等の交流を図りながら、松本らしさの文化を継承する盆踊りを開催するもの

2 令和元年度実績
松本市芸術文化祭参加者数 26,466人
松本市芸術文化祭60周年記念特別公演 1,653人
お城盆踊り参加者数 800人

< 現状に対する認識 >

幅広い市民による文化芸術活動の発表の場とともに、創造性や感性を育み、人生に生きがいや感動を与える機会になっている。
また、子どもや若年層の参加による文化芸術の担い手育成の場、地域に伝承される文化芸術への理解を図る場としても機能している。
以上から、市民の文化芸術活動を促進するため、市民意見を取り込みながら、継続していきたい。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市芸術文化祭への参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	25,700	25,700	25,700	25,700	25,700
実績値	25,654	27,300	22,984	28,119	
達成度	99.8%	106.2%	89.4%	109.4%	-
成果指標(指標名)	お城盆踊り参加者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	700	600	600	700	900
実績値	850	640	520	800	
達成度	121.4%	106.7%	86.7%	114.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,099	5,109	5,108	10,108	5,120
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,099	5,109	5,108	10,108	5,120
人件費(千円)	2,592	2,566	2,560	2,578	
正規	2,307	2,277	2,265	2,280	
嘱託	285	289	295	298	
合計コスト +	7,691	7,675	7,668	12,686	5,120
前年度比	-	99.8%	99.9%	165.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	町内公民館振興事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

町内の住民が親睦や交流、学習活動を通じて互いの思いを認め合いながら、町内の連帯意識を育てていく町内公民館活動の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
身近な地域づくりの拠点となる町内公民館事業の振興を図るため、町内公民館活動のきっかけづくりとして委託料を交付

委託先 地区町内公民館長会会長

委託料 1町会につき

200世帯まで	30,000円
201~400世帯まで	31,000円
401世帯以上	32,000円

2 令和元年度実績
487町内公民館と委託契約を締結

200世帯まで	327町内公民館
201~400世帯まで	88町内公民館
401世帯以上	72町内公民館

3 取組み事例
世代間交流事業、環境美化活動、健康や防災に関わる講座 等

< 現状に対する認識 >

最も身近な活動拠点として、住民自治を育み、地域力の向上と、町内の人間関係を良好に保ち、町内の活性化、地域の絆づくりの推進が図られている。
 ・東京大学と研究を進める「多世代参画型地域共生コミュニティ事業」の成果を今後各町会に展開し、町内公民館を活用した、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場の構築を図りたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	契約締結町内公民館数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	487	487	487	487	486
実績値	487	487	487	487	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	14,865	14,865	14,836	14,842	14,840
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,865	14,865	14,836	14,842	14,840
人件費(千円)	36,890	36,680	36,750	37,030	
正規	26,915	26,565	26,425	26,600	
嘱託	9,975	10,115	10,325	10,430	
合計コスト +	51,755	51,545	51,586	51,872	14,840
前年度比	-	99.6%	100.1%	100.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	食育事業
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	食育事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自然に恵まれた松本市の特性を生かし、人と人とのつながりを大切にみんな
で食を楽しみ、豊かな食習慣を育て、心と体の健やかな自立を目指すもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容	各地区公民館で、ライフステージに応じた地域での食育を推進するために 各種講座や学習会を開催
	講座等の例 親子料理教室、農業体験、地産地消を考える講座、郷土食を学ぶ講座、 生活習慣予防の食生活を考える講座 他
	連携団体等 食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、農協、生産者 他
2 令和元年度実績	講座数 84講座(154回) 延参加人数 3,000人

< 現状に対する認識 >

・先人から育まれてきた地域の食の多様性や豊かな味覚や文化の香り溢れる伝統的な「食」を学び、伝承する気運が図られている。
・食育に関わる団体等とのネットワークの構築が進み、地域の特性を生かした地域づくりの推進に繋がっている。
・食を通じた多世代交流の機会として定着している地区もみられる。
・各地区の事例を共有しながら、それぞれの地域の特色を生かした、事業展開を図りたい。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	講座実施回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	150	150	150	150	150
実績値	200	171	177	154	
達成度	133.3%	114.0%	118.0%	102.7%	-
成果指標(指標名)	参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,561	3,596	3,631	3,667	3,703
実績値	3,696	3,849	4,234	3,000	
達成度	103.8%	107.0%	116.6%	81.8%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	700		681		650		594		760	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	700		681		650		594		760	
人件費(千円)	36,890	人工	36,680	人工	36,750	人工	37,030	人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5	26,600	3.5		
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5	10,325	3.5	10,430	3.5		
合計コスト +	37,590		37,361		37,400		37,624		760	
前年度比	-		99.4%		100.1%		100.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	公民館管理運営
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公民館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民生活文化の振興及び福祉の増進、また生涯学習の推進を目的に、中央公民館及び地区公民館の管理運営を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

より多くの市民に公民館を利用していただけるよう備品更新計画に基づき計画的に備品を更新。併せて施設状況を調査・把握して計画的に修繕・営繕工事を実施し、安心して利用できる学習環境を整備した。

- 備品等修繕・営繕工事の実施
 修繕：空調機器、消防設備等52件実施
 工事：東部公民館空調設備改修、新村公民館大会議室床改修、中央公民館6階ガラス窓改修ほか冷暖房機器、消防用設備更新等51件実施
- 業務委託
 保守点検
 自家用電気工作物保安管理業務、地区公民館電力デマンド監視業務、消防用設備、エレベーター、自動ドア等保守点検業務等の委託
 管理
 中央公民館等の時間外管理業務、中央公民館ホール等の維持管理業務の委託
 清掃：公民館内清掃業務の委託
- 備品購入
 会議室机・椅子、印刷機、プロジェクター、モニターなど利用者備品の更新

< 現状に対する認識 >

市民の学習要望は年々多様化しており、的確なニーズの把握とそれに応じた学習環境の整備について、研究・検討を進める必要がある。
 また、施設の老朽化に伴う暖房等の空調設備や会議室の机・椅子等の修繕・更新など、市民が不便なく施設利用できるように維持管理や環境整備が必要である。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民一人当たりの利用回数(延べ利用者数/人口)の平成27年実績の維持				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60
実績値	3.44	3.34	3.26	3.28	
達成度	95.7%	92.8%	90.7%	91.1%	-
成果指標(指標名)	公民館利用件数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	63,304	63,304	63,304	63,304	63,304
実績値	65,361	63,087	68,061	74,867	
達成度	103.2%	99.7%	107.5%	118.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	260,595		277,344		262,872		272,014		401,570	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	260,595		277,344		262,872		272,014		401,570	
人件費(千円)	14,589	人工	14,669	人工	14,855	人工	14,990	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5	10,325	3.5	10,430	3.5		
合計コスト +	275,184		292,013		277,727		287,004		401,570	
前年度比	-		106.1%		95.1%		103.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	地区公民館整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

松本市地区公民館における施設・設備の計画的な部分更新・改修、並びに、整理(移転改修・解体)等を実施し、社会教育・住民活動環境を整備・保全することを目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 寿公民館トイレ改修工事
老朽化が著しく、バリアフリー化が不十分で、使い勝手の悪いトイレを全面的に改修するもの。
 - 2 里山辺公民館整備事業
新科学館整備事業に伴い、教育文化センター内に併設の里山辺公民館を移転・整備するもの。
- 令和元年度 用地取得、地質調査、実施設計
2年度 実施設計、埋蔵文化財調査、造成工事
3年度 建築工事、外構工事、植栽工事
4年度 開館

< 現状に対する認識 >

・高齢化や生活様式の変化に伴い、公民館の和式トイレの洋式化について、住民要望が強くなっているため、今後、公共施設再配置に伴う個別施設計画の中で、中間補修または大規模改修とあわせて計画的に整備を進める。
・里山辺公民館については、新科学館の整備に伴い、令和4年度までに移転整備を行う必要があるため、計画的に事業を推進する。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業進捗率(目標:実施計画にて予定した事業件数、実績:実施件数)				
指標の設定理由	整備の必要性和実績の把握				
目標値	1	1	2	1	1
実績値	1	1	3	1	
達成度	100.0%	100.0%	150.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	159,440		201,710		43,350		51,711		19,160	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	159,440		201,710		43,350		51,711		19,160	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	162,516		204,746		46,370		54,751		19,160	
前年度比	-		126.0%		22.6%		118.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	成人式開催事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	成人式開催事業

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い励ますために成人式を開催するもの(S23~開催)
 また、新成人で構成する実行委員会が成人式の企画・運営を行い、新成人松本若者会議を併せて開催し、若者の社会参画の推進を図ること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 成人式の開催
 日時
 令和2年1月12日(日)13:00~14:00
 会場
 松本市総合体育館 メインアリーナ
 主催
 松本市、松本市教育委員会
 企画運営
 松本市成人式実行委員会(新成人 17名)
 実行委員会では、式典の司会、記念品の選定、パンフレット作成、企画映像作成
 内容
 市長式辞、来賓祝辞、新成人の抱負、記念品贈呈、企画映像放映
 新成人出席者
 1,938人(対象者2,342人 出席率82.7% 前年度79.9%)
 その他
 式典終了後、卒業中学校単位で記念撮影

2 新成人松本若者会議の開催
 成人式実行委員会が主体となり、新成人を対象に「松本を若者が住みたいまちにするために」をテーマにワークショップを実施

< 現状に対する認識 >

・新成人で構成する成人式実行委員会が主体となって、式典の企画運営を行っており、若者の社会参画を進めるために、実行委員を増やし、併せて、新成人松本若者会議を開催します。
 ・松本市のまちづくり、暮らしの魅力を紹介する映像を映し、パネルも展示し、若者の地元定着、Uターンを促進します。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	成人式出席率				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	80%	80%	80%	80%	80%
実績値	79.20%	79.20%	79.90%	82.70%	
達成度	99.0%	99.0%	99.9%	103.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	3,761	4,256	4,760	5,173	4,890					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,761	4,256	4,760	5,173	4,890					
人件費(千円)	2,307	人工	4,373	人工	4,365	人工	4,396	人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	6,068		8,629		9,125		9,569			4,890
前年度比	-		142.2%		105.7%		104.9%			-

事務事業評価票

事務事業名	コミュニティスクール事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	コミュニティスクール事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

2018～

子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域とともにある学校」「地域に開かれた学校」をつくることを目指して、地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネート役となり、コミュニティスクール運営委員会(学校職員・公民館職員・地域住民等で構成)等の中で、地域全体で子どもを育てる意識向上を図り、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会として、次世代の担い手となるべく地域への帰属意識を醸成する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
 学校と地域と家庭が、どんな子供に育てたいか、どんな地域にしたいか、という目標やビジョンを共有しながら連携・協働する。
 特定の個人に依存しない地域住民・団体等が参画するゆるやかなネットワークを形成しながら、持続可能な活動の中で、子供たちが身近な地域の大人たちと関わりながら成長する仕組みをコーディネートする。

2 令和元年度実績
 コミュニティスクール運営委員会で事業内容を協議し全市内小中学校・地域において事業を展開
 学習活動
 食育・環境・郷土学習、読み聞かせの実践、朝学習や放課後等での学習見守り支援・職場体験学習(キャリア教育) 他
 学校行事・地区行事参画
 学校や地区の運動会や音楽会等の学校行事の参画、まち探検等の行事同行、パラスポーツ協働実施 他
 地域ボランティアへの参画
 福祉施設訪問、地域清掃活動、地域住民(高齢者)のゴミ捨て支援、里山保全活動 他

< 現状に対する認識 >

・協働するための協議を運営委員会で行うことが必要であるが、地区住民が関わりやすいように学校の授業や課外活動等を支援することから進めているところもある。
 ・松本版コミュニティスクールを推進する事業(研修等)を行い、理念や方向性を市民や関わる職員等で共有することにより、地域の学校や大人と子どもが協働し、一緒に関わる事業を展開へ導く必要があるため、共通資料(パンフレット等)を用いる等工夫を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる」平均点				
指標の設定理由	市民満足度調査				
目標値	3.15	3.15	3.15	3.15	3.15
実績値	3.15	-	2.98	-	-
達成度	100.0%	-	94.6%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	3,043	3,342	3,700
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0	0	3,043	3,342	3,700
人件費(千円)	0	人工	0	人工	36,750
正規	0	0	0	26,425	3.5
嘱託	0	0	0	10,325	3.5
合計コスト +	0	0	39,793	40,372	3,700
前年度比	-	-	-	101.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業
-------	--------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30～R2

<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりの基盤となる町会単位の住民の絆づくりを進める。 超少子高齢化社会の中、町会単位で楽しく生き残るコミュニティづくり。 子どもから高齢者まで多世代が交流できるコミュニティを創生する。
--

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

<p>1 内容</p> <p>松本市は、公民館や福祉ひろばを基本とした住民主体の松本らしい地域づくりが特徴であるが、町会や地区で行われている活動の疲弊化やマンネリ化等の現状がある。</p> <p>そこで、松本市と東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築し、一番身近な町会単位で設置されている町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ(新たな社会保障システム)」の構築を目指す。</p> <p>2 令和元年度実績</p> <p>中央地区鷹匠町町会(旧市部)、里山辺地区新井町会(新市部)、安曇地区橋場町会(安曇地区他町会への広がりも模索:中山間地)をモデル3町会として、ワークショップを通じて、町会の現状や課題を認識、共有した。</p> <p>ワークショップ等の話し合いの中から、子どもたちの夏合宿の実施を機に子どもと親世代が町会運営に参加する動き、公民館寺子屋を計画する等、子どもを中心にした新旧住民の交流の動き、町会の枠を越えて有志団体とともに地域を活性化しようとする動き等、住民主体の活動が見られた。</p>
--

< 現状に対する認識 >

<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が「当事者意識」を持つための働きかけを継続し、行政依存でなく住民主体の地域参画や担い手づくりにつなげていくことが今後の課題 地域共生社会に向けて、地域づくりセンター長や生活支援コーディネーター等の職員の参加と、地域づくり部、健康福祉部など庁内横断の取組みが今後の課題
--

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			地域づくりの担い手の育成
5つの重点目標	1		健康ときずなづくり
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	調査実施地区数(地区)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値			20		
実績値			20		
達成度	-	-	100.0%	-	-
成果指標(指標名)	事業実施町会数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値				3	3
実績値				3	
達成度	-	-	-	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	1,540	1,580	1,580
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0	0	1,540	1,580	1,580
人件費(千円)	0	人工	0	人工	36,750
正規	0	0	26,425	3.5	26,600
嘱託	0	0	10,325	3.5	10,430
合計コスト +	0	0	38,290	38,610	1,580
前年度比	-	-	-	100.8%	-

中央図書館

館長 瀧澤 裕子

事務事業評価票

事務事業名	図書館資料整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館資料整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域づくりや生涯学習の情報拠点としての役割を果たすため、地域資料や学習のための資料等、利用者が必要とする図書館資料を収集し提供するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容
 図書資料の購入(中央図書館及び分館10館)
 寄贈本、収集した地域資料等の装備、登録
 蔵書の有効的利用を図るための分館からの移管や除籍

2 令和元年度の実績
 資料整備(雑誌、視聴覚資料等を含む)
 購入 43,522冊
 寄贈等 2,075冊
 年度末蔵書数 1,269,412冊
 貸出冊数
 個人貸出 1,438,447冊
 団体貸出 59団体 23,886冊

[参考] 登録者数関係
 1 登録者数 118,667人(前年比 7,772人)
 2 うち、市内登録者数 105,476人
 (市民の登録率44.3%、前年比 2.6%)
 3 松本市人口 237,840人(令和2年4月1日現在)

< 現状に対する認識 >

蔵書冊数は、前年度の1,249,146冊から20,266冊(1.6%)増加。
 個人貸出数は、前年度の1,524,168冊から85,721冊(5.6%)減少。
 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で3/4~3/31まで全館閉館。
 (3/25のみ開館)
 新型コロナウイルスの影響による休館がなければ、2月末までの実績では、H30より、貸出冊数も登録者数も増加傾向にありました。

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約 9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館蔵書数				
指標の設定理由	図書館サービスの基本である「住民の求める資料の充実」に係る指標				
目標値	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6
実績値	5.1	5.2	5.2	5.3	
達成度	98.1%	98.1%	96.3%	96.4%	-
成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館貸出冊数				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	7.1	7.1	7.2	7.3	7.4
実績値	6.7	6.6	6.4	6.1	
達成度	94.4%	93.0%	88.9%	83.6%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	93,790		94,524		93,617		87,330		91,620	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	93,790		94,524		93,617		87,330		91,620	
人件費(千円)	32,910	人工	33,105	人工	32,910	人工	33,750	人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,535	1.5	11,400	1.5		
嘱託	21,375	7.5	21,720	7.5	21,375	7.5	22,350	7.5		
合計コスト +	126,700		127,629		126,527		121,080		91,620	
前年度比	-		100.7%		99.1%		95.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	図書館活動費
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館活動費

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

- 1 図書館の利用につながる様々な活動を行うもの
- 2 「ユタ日報」松本研究会へ研究調査費の補助を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 おはなし会等のイベントや各種講座を開催
令和元年度 11館合計 おはなしの会 254回
講演会・講座 51回
- 2 対面朗読サービスの実施
視覚障害等により本を読むことが困難な方に、ボランティアが朗読サービスを実施
令和元年度 16カ所で419回
- 3 「ユタ日報」松本研究会の主な活動
令和元年度
6月22日講演会の開催
講師:小林和彦氏(東京大学農学生命科学研究科 名誉教授)
9月28日講演会開催
講師:三尾 稔氏(国立民族学博物館グローバル現象研究部教授)
12月14日談話会開催
講師:田中有規子氏(松本民芸館長)
稲田晃氏(元中学校長)

< 現状に対する認識 >

本を借りるだけでなく、調べ物や学習、イベントへの参加等、様々な利用をする市民が多くいるため、今後、来館者数を成果指標としたい。
様々なイベントや講座の実施は、図書館を広く知ってもらい、図書館利用のきっかけづくりとなっています。さらに多世代に向けた企画を考えて実施することが求められています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民の図書館利用者カード登録率				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	46.37%	46.49%	46.61%	46.73%	46.85%
実績値	45.52%	45.08%	46.91%	44.35%	
達成度	98.2%	97.0%	100.6%	94.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,815		1,639		1,644		1,341		1,640	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,815		1,639		1,644		1,341		1,640	
人件費(千円)	59,260	人工	59,260	人工	59,700	人工	60,200	人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4	30,400	4		
嘱託	28,500	10	28,900	10	29,500	10	29,800	10		
合計コスト +	61,075		60,899		61,344		61,541		1,640	
前年度比	-		99.7%		100.7%		100.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	図書館管理運営費
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館管理運営費

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内11館の図書館について、直営で管理運営を行い、市民の生涯学習の拠点としての環境を維持・整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 中央図書館と分館10館の維持管理及び運営業務を行った。
- 1 臨時職員の賃金、社会保険料
 - 2 旅費(臨時職員、図書館協議会委員の費用弁償、嘱託職員・正規職員の研修会等参加旅費)
 - 3 消耗品費
 - ・事務用消耗品(コピー用紙、印刷機用消耗品等)
 - ・管理用消耗品(蛍光灯、ゴミ袋、手指消毒液、薬用ハンドソープ)
 - 4 燃料費(灯油)
 - 5 印刷費(図書館利用案内)
 - 6 光熱水費(電気代、上下水道料)
 - 7 修繕料
 - 8 電話料、郵送料
 - 9 手数料(クリーニング、水質検査)
 - 10 使用料(サピエ)、借上料(土地、マイクロリーダー、防犯カメラ)
 - 11 原材料費(館内掲示物作成等原材料)
 - 12 備品購入費
 - 13 委託料(清掃、保守点検、調査、警備、害虫防除、樹木剪定、分館メール便、病院内窓口)
 - 14 工事請負費

< 現状に対する認識 >

中央図書館をはじめとして、施設の老朽化が進むなか、修繕や工事等緊急性の高いものは優先的に実施するなど、全てにおいて堅実な事務執行をしているが、安心安全で快適な環境の整備、利用者の利便性の向上が求められています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書資料貸出冊数				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	7.1	7.1	7.2	7.3	7.4
実績値	6.7	6.6	6.4	6.1	
達成度	94.4%	93.0%	88.9%	83.6%	-
成果指標(指標名)	市民の図書館利用者カード登録率				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	46.37%	46.49%	46.61%	46.73%	46.85%
実績値	45.52%	45.08%	46.91%	44.35%	
達成度	98.2%	97.0%	100.6%	94.9%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	91,701	101,271	98,510	100,518	81,890					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	91,701	101,271	98,510	100,518	81,890					
人件費(千円)	31,620	人工	31,440	人工	31,500	人工	31,740	人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,650	3	22,800	3		
嘱託	8,550	3	8,670	3	8,850	3	8,940	3		
合計コスト +	123,321	132,711	130,010	132,258	81,890					
前年度比	-	107.6%	98.0%	101.7%	-					

事務事業評価票

事務事業名	学都松本子ども読書活動推進事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学都松本子ども読書活動推進事業費

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

平成31年2月に策定した第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが身近な場所で進んで本に親しみ、自ら学び知る楽しさを体得するため、読書環境の整備を推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

第2次計画における実施事業

- 子どもが読書に親しめる環境づくり
 - ブックスタート~セカンド・サードブック事業
 - 親への働きかけ、家庭読書の日
- 子どもの読書活動を広め、支える人を育てる
 - 読書案内人、読書ボランティア養成講座
 - 子ども読書推進サポーター、お楽しみ絵本便、読み聞かせ小道具等整備
- 計画推進のための連携体制
 - 学都子ども読書推進委員会
 - 松本子どもどくしょノート、絵本マップの作成

令和元年度実施事業

- セカンドブック事業を開始しました。
- 読み聞かせボランティア養成講座、子ども読書活動スキルアップ講座を開催しました。ボランティア養成講座の受講者で「松本市読み聞かせボランティア」に登録した26人が中央図書館の定例おはなし会で活動を始めました。
- 子ども読書活動推進委員会を設置しました。

平成28年度から平成30年度は、「〇ブックスタート事業費」として計上

< 現状に対する認識 >

- サードブック事業の早期実現に向け検討を始めます。
- ブックスタート事業の支援など図書館職員と共に子ども読書活動を行う「松本市子ども読書推進サポーター」の活動を進めます。
- 令和元年度に設置した学都子ども読書推進委員会と共に子どもの読書活動を推進していきます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	子ども登録率(18歳までの登録者数÷19歳までの人口)				
指標の設定理由	事業の成果を計る指標となるため(令和元年度設定)				
目標値				46.37	46.50
実績値	46.23	46.36	46.32	45.64	
達成度	-	-	-	98.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,276		2,277		2,230		4,849		5,200	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,276		2,277		2,230		4,849		5,200	
人件費(千円)	29,630	人工	29,630	人工	29,850	人工	30,100	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	14,250	5	14,450	5	14,750	5	14,900	5		
合計コスト +	31,906		31,907		32,080		34,949		5,200	
前年度比	-		100.0%		100.5%		108.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	図書館コンピュータシステム管理費
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館コンピュータシステム管理費

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

- 1 図書館システムにより、利用者データ、図書館資料データの管理、資料の貸出、返却、予約業務等の図書館業務を円滑に行い、利用者の利便性向上を図るもの
- 2 各種データベースの提供により、市民への学習機会の提供を行い、市民が主体的に学べる「学都」の実現をめざすもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 図書館システムの運用、インターネット利用者サービスの提供
- 1 コンピュータ運用消耗品
プリンター用トナー、トナーカートリッジ等
 - 2 電話料
インターネット利用者サービス(インターネット通信費、IPアドレス使用料)
 - 3 使用料
各種データベースサービス使用料
(信毎、朝日新聞、第一法規、官報、ジャパンナレッジ)
 - 4 借上料
・中央図書館インターネット利用者システム借上料
・図書館コンピュータシステム借上料(11館分)
 - 5 委託料
図書資料データ入力(11館分)

< 現状に対する認識 >

令和元年度の図書資料の予約件数は全181,596件(H30は177,442件)で、うちWeb予約は148,305件(H30は141,437件)で81.7%を占め、利用者の図書館システムの利用が進んでいることが伺えます。
24時間365日稼働の図書館システムは非常に利便性が高いものですが、利用者から、パソコン席の増設、Wi-Fi環境の整備等、ICT環境整備についての要望が多くあります。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民の図書館利用者カード登録率				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	46.37%	46.49%	46.61%	46.73%	46.85%
実績値	45.52%	45.08%	46.91%	44.35%	
達成度	98.2%	97.0%	100.6%	94.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	20,965		13,326		22,074		21,582		23,170	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,965		13,326		22,074		21,582		23,170	
人件費(千円)	57,835	人工	57,815	人工	58,225	人工	58,710	人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4	30,400	4		
嘱託	27,075	9.5	27,455	9.5	28,025	9.5	28,310	9.5		
合計コスト +	78,800		71,141		80,299		80,292		23,170	
前年度比	-		90.3%		112.9%		100.0%		-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
1 図書館協会に加入し、図書館の課題と対策について情報を共有する。また、他自治体の事例や業界の動向などの情報を入手する機会を得る。 2 波田文化センターの指定管理者に波田図書館の運営に係る経費を支払う。 3 各種会議や研修会に参加し、図書館サービスや職員の能力の向上に資する。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 長野県図書館協会負担金 令和元年度 22千円 県内の公共図書館の他、小中学校、高校大学などの図書館が参加し、各種研修会、会議を開催
2 日本図書館協会負担金 令和元年度 50千円 全国の公共図書館の他、小中学校、高校大学などの図書館が参加し、各種調査、研修、会議を開催
3 波田図書館管理費負担金 波田図書館分の光熱水費を負担するもの。 令和元年度 2,840千円
4 会議・研修会参加負担金 令和元年度 28千円 ・全国図書館大会 3名 ・防火管理者講習 1名 ・長野県図書館協会専門研修会 3名

< 現状に対する認識 >

1 図書館協会への加入により、他市の動向や本市の課題解決のための情報入手ができ、日々の図書館サービスの改善につながっています。
2 波田図書館管理費負担金は波田図書館の運営に必要なものです。
3 会議、研修会に参加することで、職員の資質向上につながり、よりよい図書館サービスが提供できています。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,917	2,923	2,918	2,940	2,970
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,917	2,923	2,918	2,940	2,970
人件費(千円)	3,845	3,795	3,775	3,800	
正規	3,845	3,795	3,775	3,800	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.5	0.5	0.5	0.5	
合計コスト +	6,762	6,718	6,693	6,740	2,970
前年度比	-	99.3%	99.6%	100.7%	-

文化財課

課長 竹原 学

事務事業評価票

事務事業名	まつもと文化遺産活用事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと文化遺産活用事業費

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	R1～
--------	-----

文化財保存活用のアクションプランとして平成30年度に策定した松本市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の活用を図るものです。
従来の指定制度による文化財の保存、活用に加え、未指定文化財を含めた面的な活用を図り、地域住民の文化財を活用した地域づくり、まちづくりにつなげていくものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【事業内容】

- 松本市文化財保存活用計画の認定
松本市文化財保存活用計画について、文化財保護法に基づく法定計画としての認定を目指すもの。
- 計画に基づく活用事業の実施
「まつもと文化遺産」の認定と活用事業の支援
各地区における関連文化財群(*)の保存活用の活動を「まつもと文化遺産」として認定し、活動に対し補助金交付等により支援するもの。
まつもと文化遺産保存活用協議会(以下、協議会)の開催
平成30年度に設置した協議会において、「まつもと文化遺産」の認定及び文化財の活用策について検討するもの。

【令和元年度事業実績】

- 文化庁に対し計画の法定計画への認定申請を行い、令和元年7月19日付けで全国初となる認定を受けた。
- 「まつもと文化遺産」を新たに2件認定し、認定件数は4件となった。
- 協議会を2回開催し、「まつもと文化遺産」の認定、文化財の活用策を検討
- 認定済みの「まつもと文化遺産」2件に対し補助金を交付

* 関連文化財群
松本市歴史文化基本構想の策定の際、各地区において、指定の有無を問わず関係する文化財を群としてとらえ、「関連文化財群」として設定したもの。

< 現状に対する認識 >

- 歴史文化基本構想の策定時に、地域主体で文化財調査を行なったことで、調査成果の活用する動きと文化財を地域で保護する気運が高まりつつある。
- 「まつもと文化遺産」の認定により、市民による地域の文化財の保存活用を支援するとともに、地域の文化財を広く周知する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価		A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まつもと文化遺産認定件数				
指標の設定理由	市民による地域の文化財の保存活用の実績であるため				
目標値			2.0	4.0	6.0
実績値			2	4	
達成度			100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	271	1,530
国・県					1,000
利用者負担金					
その他					
一般財源				271	530
人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	6,378	
正規	7,690	7,590	7,550	6,080	0.8
嘱託	0	0	0	298	0.1
合計コスト +	7,690	7,590	7,550	6,649	1,530
前年度比	-	98.7%	99.5%	88.1%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	史跡弘法山古墳再整備事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約 9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標 主な取組み 市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
			松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	史跡弘法山古墳再整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

1 ~ 5

史跡弘法山古墳の調査によりこれまで未解明だった価値を明らかにし、保存活用計画を策定したうえで桜との共存図り周辺の環境や古墳も取り込んだ史跡ゾーンとして再整備するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業内容]

- 弘法山古墳の発掘調査と保存活用計画策定
詳細測量、発掘調査、保存活用計画策定
- 大学連携による周辺古墳群の調査
東海大学との連携による棺護山古墳群ほかの測量と発掘調査
- 普及公開事業の推進
調査成果公開、参加体験型の講座、SNSやITの活用による情報発信

[事業の進捗状況と事業費累計]

R元 詳細測量・周辺古墳群測量・リーフレット作成 8,270千円

< 現状に対する認識 >

桜やロケの名所としての知名度が先行する一方で、昭和49年に実施した調査が限定的だったため、史跡の価値が十分明らかになっていません。令和2~3年に予定している発掘調査により、新たな価値の掘り起こしを行い、調査成果の効果的な周知を行い、市民の関心を高めながら、いかに地域振興・地域づくりに繋げていけるかが課題です。

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	全体事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業が多岐にわたり事業費でしか指標を示せない。				
目標値				10.0	30.0
実績値				10	
達成度				100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		0		8,270		22,840	
国・県							4,040		10,730	
利用者負担金										
その他										
一般財源							4,230		12,110	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	6,780	人工		人工
正規	0		0		0		3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		2,980	1		
合計コスト +	0		0		0		15,050		22,840	
前年度比	-		-		-		-		-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち			
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

25 ~ 3

井川城跡と林城跡(大城・小城)について、国史跡指定を進め「小笠原氏城跡」として一体的な保存・活用を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業内容]

- 3城跡の国史跡指定に向けた調査・報告書刊行
井川城跡の発掘調査、林城跡(大城・小城)の縄張調査、文献史料調査、調査報告書の刊行
- 3城跡の国史跡指定手続き
指定範囲の確定、周知、土地所有者の同意取得、意見具申書の提出(答申～指定)
- 普及公開事業の推進
調査成果公開、史跡活用講座、指定記念事業、山城サミット協議会加盟
- 保存活用計画策定
史跡の現状把握と将来的な保存・管理・活用方針の策定

[事業の進捗状況と事業費累計]

H2 5	指定に向けての調査開始	1	1	160千円
H2 6	指定に向けての調査完了	3	1	480千円
H2 7	指定対象の価値付け	3	7	030千円
H2 8	具申～指定(井川城跡・林大城)	4	2	640千円
H2 9	追加指定に向けての調査(小城)	1	10	780千円
H3 0	追加指定(林小城)	6	9	90千円
R元	指定記念普及公開事業	3	8	90千円
R2	保存活用計画策定(1年目)	9	8	60千円
R3	保存活用計画策定(2年目・完了)	1	3	310千円

< 現状に対する認識 >

保存活用計画を早期に策定する必要があります。
井川城跡の史跡指定は、計画範囲の60%にとどまっているため、継続的に追加指定に取り組む必要があります。また、史跡指定地の用地取得についても引き続き取り組みます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	用地取得を除く事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業が多岐にわたり事業費でしか指標を示せない。				
目標値	67	77	89	92.0	95.0
実績値	67	77	89	92	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	全体事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業が多岐にわたり事業費でしか指標を示せない。				
目標値	9	61	93	95	98
実績値	9	61	63	76	
達成度	100.0%	100.0%	67.7%	80.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,607		110,780		6,990		3,932		148,970	
国・県	1,225		84,900				950		117,620	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,382		25,880		6,990		2,982		31,350	
人件費(千円)	11,965	人工	13,370	人工	13,450	人工	10,580	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	4,275	1.5	5,780	2	5,900	2	2,980	1		
合計コスト +	17,572		124,150		20,440		14,512		148,970	
前年度比	-		706.5%		16.5%		71.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	殿村遺跡史跡整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	殿村遺跡史跡整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

22 ~ 2

現地保存が決まった殿村遺跡について、史跡指定を視野に将来的な整備・活用を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【事業内容】

- 殿村遺跡発掘調査
計画的な範囲・内容確認調査による遺跡範囲(将来的な史跡範囲)の把握、調査報告書の毎年刊行
- 虚空蔵山麓の総合調査
周辺の寺院や信仰関連資料調査による一体の信仰空間の把握、虚空蔵山城跡ほか周辺の城館遺跡の把握、地質・植生等の景観調査
- 普及公開事業の推進
調査成果の公開と講座講演会の開催

【事業内容と進捗度(事業費ベース・累計)】

H22	第2次調査ほか	22,570千円
H23	第3次調査ほか	52,120千円
H24	第4次調査ほか	74,100千円
H25	第5次調査ほか	93,110千円
H26	第6次調査ほか	101,290千円
H27	第7次調査ほか	109,880千円
H28	第8次調査ほか	136,470千円
H29	第9次調査ほか	147,650千円
H30	追加調査・総括	12,030千円
R元	報告書刊行	4,100千円
R2	遺跡管理(除草)	1,080千円

< 現状に対する認識 >

計画に従い総括報告書を刊行し、遺跡の価値付けを行いました。今後の保存活用にあたり、史跡指定に取り組む必要があります。保存活用計画策定後は、整備・活用事業に移行します。

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業全体の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業内容が多岐にわたるため事業費ベースでしか進捗を示せない。				
目標値	85	97	99	100	
実績値	85	97	99	100	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	23,539		16,440		12,030		4,308		1,080	
国・県	17,752		13,440		5,220		1,562		0	
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,787		3,000		6,810		2,746		1,080	
人件費(千円)	11,965.0	人工	10,440	人工	10,500	人工	6,780	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	3,800	0.5		
嘱託	4,275	1.5	2,850	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	35,504		26,880		22,530		11,088		1,080	
前年度比	-		75.7%		83.8%		49.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定事業
-------	--------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	白骨温泉噴湯丘等保存管理事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約 9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27 ~ R5

国特別天然記念物である「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」の保存と適切な活用を図るため、文化財の現状を把握し、令和元年度に保存活用計画を策定する。

保存活用計画策定後は、観光・教育活用に向けた整備を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 文化財の現況調査
 詳細地形測量(27年度)
 噴湯丘と球状石灰石 分布調査(28~29年度)
 学術調査(28年度:植物、29年度:地質、鉱物、微生物、温泉水等)
 文献調査(28~29年度)
 噴湯丘詳細調査(30年度)
- 文化財指定範囲の追加
 現況調査結果に基づき、指定範囲を追加するよう文化庁に意見具申(元年7月)
 意見具申にもとづき、文化庁が新しい指定範囲を告示(2年3月)
- 保存活用計画の策定
 現状変更基準や活用の方向性などについて、関係者間の合意形成を図りながら、保存活用計画を策定(29~元年度)。
- 用地買上げ準備
 買上げが指定の同意条件となっている民有地1筆について、2年度の購入に向けて、用地測量・不動産鑑定を実施(元年度)。

< 現状に対する認識 >

- 事業計画のとおり、令和2年2月、保存活用計画を策定した。
- 白骨温泉は日本有数の温泉観光地であり、文化財の活用と観光が一体となっている。地元も平成30年にまちづくり委員会を設置するなど、文化財を活用した地域おこしの機運が高まっている。
- 今後は、本特別天然記念物への理解の浸透を図るとともに、魅力的な観光・教育資源としての活用に向けた整備を実施する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	計画策定のため目標値の設定は不適當				
目標値					
実績値	調査	調査・検討	調査・検討	保活計画策定	整備計画策定
達成度					
成果指標(指標名)	計画策定のため目標値の設定は不適當				
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,406		6,344		3,741		3,560		5,770	
国・県	3,924		3,361		1,982		1,196		2,880	
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,482		2,983		1,759		2,364		2,890	
人件費(千円)	5383	人工	7590	人工	8305	人工	8658	人工		人工
正規	5383	0.7	7590	1	8305	1.1	8360	1.1		
嘱託	0		0		0		298	0.1		
合計コスト +	12,789		13,934		12,046		12,218		5,770	
前年度比	-		109.0%		86.5%		101.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	文化財保存管理事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化財保存管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民に守られてきた文化財を後世に伝えるため、文化財の指定・登録等を進め、整備や修理などの維持管理を行い、文化財所有者への支援を行うことで、文化財の保存と活用を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 文化財の指定・登録
 指定等のための調査
 文化財審議委員会等において7件の文化財調査・検討を実施
 令和元年度新規指定等件数
 国指定文化財 1件 (平成30年度 0件) 国宝旧開智学校校舎
 県指定文化財 1件 (平成30年度 0件) 県宝エリ穴遺跡出土品
 市指定文化財 4件 (平成30年度 2件) 市特別名勝城山公園等
 国登録文化財 1件 (平成30年度 1件) 旧昭和興業製糸場
 市登録文化財 1件 (平成30年度 0件) 旧デリー(壱の蔵)
 令和2年3月31日現在の指定等文化財件数 343件 (国82・県36・市225)
 無形文化財のデータベース化、映像記録の収集、現状の記録映像作成
 - 指定等文化財の維持管理、整備
 市所有(文化財課所管)指定等文化財の維持管理
 弘法山古墳、橋倉家住宅、針塚古墳、戸田家廟園、源智の井戸等
 市所有(文化財課所管)指定等文化財の整備
 平成30年度 戸田家廟園内陣保存整備、穴沢のクジラ化石保存整備、
 源智の井戸環境整備等
 令和元年度 穴沢のクジラ化石保存整備
- 小笠原氏城館群及び弘法山古墳の史跡整備、白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定を除く。

< 現状に対する認識 >

- 豊かな自然と長い歴史から本市には多くの文化財が継承されてきたが、社会環境の変化で文化財を取り巻く環境は厳しさを増している。
- 文化財の適切・計画的な保存管理を行うとともに、更なる文化財指定と、所有者の文化財保護活動に対する支援を充実させる必要がある。

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数				
指標の設定理由	文化財の指定等は所有者による保存と行政からの支援につながるため				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	333	336	337	343	
達成度	99.4%	98.8%	97.7%	98.0%	-
成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数(新規指定・登録件数)				
指標の設定理由	解除件数を除くことで新規指定等件数が明確になるため				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	334	339	343	349	
達成度	99.7%	99.7%	99.4%	99.7%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	29,169		18,174		41,987		12,563		9,380	
国・県							1,923			
利用者負担金										
その他										
一般財源	29,169		18,174		41,987		10,640		9,380	
人件費(千円)	20,080	人工	22,119	人工	22,025	人工	22,174	人工		人工
正規	19,225	2.5	21,252	2.8	21,140	2.8	21,280	2.8		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	49,249		40,293		64,012		34,737		9,380	
前年度比	-		81.8%		158.9%		54.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	埋蔵文化財保護事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	埋蔵文化財保護事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

文化財保護法に基づき、主として開発事業により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存を図るもの。発掘調査の成果から松本の歴史を明らかにし、市民に伝えていくことで、郷土に誇りや愛着の持ってもらう。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 開発事業に伴う窓口照会事業
開発に伴う照会に対し、遺跡に該当するかどうかを回答
令和元年度の照会件数 1,252件 【H30年度の照会件数は1,893件】
- 2 試掘調査事業
遺跡該当の開発事業に伴い、分布・範囲の確認を目的とする試掘調査と立会調査を実施
令和元年の試掘件数:36件、立会件数:282件
【H30年度の試掘件数:54件、立会件数:268件】
- 3 記録保存のための発掘調査事業
受託事業、市単独事業に伴う発掘調査を実施
また、遺構図類・遺物の整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行
令和元年度 発掘件数:受託1件、市単4件 計5件
整理作業:受託4件、市単5件 計9件
【H30年度 発掘件数:受託3件、市単4件 計7件、
整理作業件数:受託3件、市単3件 計6件】
- 4 普及公開事業
市民公開の機会として講座・現地見学会を開催
(令和元年度:30件の講座・現地見学会、企画展等を開催し、延参加者数2,254人)
1回あたり75人の参加

< 現状に対する認識 >

市内には多くの遺跡がある。近年は大規模調査に加え、都市計画道路内環状北線に関わる発掘調査が本格化している。限られた経費と期間内で最大の成果を上げられるよう、調査技術の継承を含め、職員の資質向上を図り、調査成果を積極的に市民公開し、郷土の歴史・文化への関心が高めていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由	開発事業量に左右される業務のため、目標値設定は困難					
目標値						
実績値						
達成度						
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	82,020	70,960	79,950	75,309	145,320					
国・県	900		0	310	720					
利用者負担金	43,280	37,170	20,660	11,769	90,400					
その他										
一般財源	37,840	33,790	59,290	63,230	54,200					
人件費(千円)	68,940	人工	68,660	人工	68,900	人工	74,060	人工		人工
正規	46,140	6	45,540	6	45,300	6	53,200	7		
嘱託	22,800	8	23,120	8	23,600	8	20,860	7		
合計コスト +	150,960		139,620		148,850		149,369		145,320	
前年度比	-		92.5%		106.6%		100.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	エリ穴遺跡出土品文化財指定事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	エリ穴遺跡出土品文化財指定事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	R1
--------	----

内田地区にある縄文時代のエリ穴遺跡は全国最多約2600点の土製耳飾りをはじめ多種多様な遺物が出土した集落跡である。土製耳飾りを含む出土品は、学術的・美術的な価値が極めて高いことから、県宝指定を経て、国重要文化財の指定を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 県宝指定事業
県教育委員会や県文化財保護審議会の指導を受けながら事業を進め、エリ穴遺跡の出土品485点について、令和2年3月に県宝指定された。
- 2 普及公開事業
市指定記念事業の講演会「エリ穴遺跡と縄文後晩期の社会」を8月に開催し、104名の参加を得た。
同企画展「エリ穴遺跡の精神世界」を8月から9月に開催し589名の入館者を得た。
同遺跡のパンフレット「エリ穴遺跡 日本最多の土製耳飾りが出土したムラ」を2000部作成し、配布した。

< 現状に対する認識 >

県宝指定により、出土品の価値は高められた。今後は普及公開事業を行いながら保存・活用を進め、県教育委員会や文化庁に積極的に働きかけて国重要文化財指定の可能性を探り、指定を目指す。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	指定事業の進捗状況(事業費ベース)				
指標の設定理由					
目標値				100.0	
実績値				100	
達成度				100.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	0	0	567	0	
国・県				280		
利用者負担金						
その他						
一般財源				287		
人件費(千円)	0	人工	0	人工	10580	人工
正規	0	0	0	7600	1	
嘱託	0	0	0	2980	1	
合計コスト +	0	0	0	11,147	0	
前年度比	-	-	-	-	-	

事務事業評価票

事務事業名	文化財保護事業補助金
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

松本市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき、指定・登録文化財の修理等に対し補助金を交付し、文化財の保存・活用を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業内容]
松本市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき、文化財所有者が行う修理等の事業、地元の文化財関係団体が行う文化財の保存活用事業等に対し補助金を交付するもの。文化財所有者の負担軽減、地元の文化財関係団体の活動支援を行うことで、文化財の保存活用を図るもの。

[令和元年度交付実績]
1 指定文化財改修補助金(8件 10,810千円)
保存修理事業 旧念来寺鐘楼、和田神社本殿、無極寺本堂、旧デリー(壱の蔵)
防災設備設置事業 正覚院観音堂
環境整備事業 松本城下町の舞台(東町2丁目)、岩岡の火打岩御殿山小笠原家廟所、
2 指定文化財保存等活動団体事業補助(13件 628,000円)
保存管理事業 小笠原氏城跡(林大城・林小城・埴原城)、針塚古墳、若澤寺跡、平瀬城跡
保存伝承事業 内田のササウ踊り、ぼんぼんと青山様、島立堀米の裸祭り、島内の鳥居火、奈川獅子、両島のお八日念仏
教育普及事業 若澤寺跡

< 現状に対する認識 >

1 文化財の保存修理等には多額の経費を要することから、補助金の交付により所有者の負担を軽減し、文化財の維持を図る必要がある。
2 団体の文化財保存活用事業に対する補助金は、事業に必要な消耗品等の経費を補助するもので、市民主体の文化財保護活動を支援し、地域づくりにもつながっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
区分	成果指標(指標名)					
	指標の設定理由	文化財所有者等からの要望に基づき実施するため、目標設定が困難				
	目標値					
	実績値					
	達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	10,453	7,071	5,848	11,438	17,170
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,453	7,071	5,848	11,438	17,170
人件費(千円)	3,845	3,795	3,775	3,800	
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,800
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	14,298	10,866	9,623	15,238	17,170
前年度比	-	76.0%	88.6%	158.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

史跡整備等に係る協議会、研究会に加盟し、他自治体や学界の情報収集、史跡整備等の課題に対する取組み事例の把握、研修への参加等により、本市の文化財保護の向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[負担金実績]

- 全国史跡整備市町村協議会 40,000円
史跡等を有する全国の自治体が、史跡等の整備に関する情報交換を通じて技術等の向上を図るとともに、国に対し補助事業等の拡充を求める目的で設立。
- 全国史跡整備市町村協議会北信越協議会 10,000円
全国史跡整備市町村協議会の北信越ブロックの協議会で、史跡整備等に関する情報交換、研修会の開催等を行う。
- 日本遺跡学会 8,000円
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所が、全国の遺跡の保存整備及び活用などの情報交換や研究会を開催する目的で設立したもの。

< 現状に対する認識 >

- 協議会・学会への加盟により、他市町村との情報交換、史跡整備及び埋蔵文化財保護に関する最新の動向の把握、研修への参加を行うことができ、本市の文化財保護の向上のため必要である。

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	53	61	61	58	60
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	53	61	61	58	60
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
合計コスト +	822	820	816	818	60
前年度比	-	99.8%	99.5%	100.2%	-

松本城管理事務所

所長 米山 順一

事務事業評価票

事務事業名	危機管理防災対応事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	危機管理防災対応事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

諸災害の発生に備え、観光客や市民の安全を確保するとともに災害時の文化財松本城の被害軽減に取り組むもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 防災設備等の保守点検 天守及び管理事務所等の防災ネットワークの保守点検(年1回) 天守の電気設備の点検(年1回)
--

< 現状に対する認識 >

・火災等の発生防止には、まず各設備、機器が適切に運用されることが重要である
・適切な時期、規模、回数による設備等の保守点検業務が、非常(発災)時における文化財の被害軽減と観光客・市民の安全確保につながる

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	点検の実施回数				
指標の設定理由	危機管理対策を把握するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,568		921		921		938		970	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	1,568		921		921		938		970	
人件費(千円)	2,307	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	2,307	0.3	759	0.1	755	0.1	760	0.1		0.1
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,875		1,680		1,676		1,698		1,730	
前年度比	-		43.4%		99.8%		101.3%		-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助松本城史跡整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国庫補助松本城史跡整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、崩落の恐れのある石垣を修理するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 石垣修理
「史跡松本城石垣現況調査」に基づき、崩落の恐れが最も高いと判断された石垣のうち、本丸北外堀南面の石垣について計画的に修理する
・本丸北裏門東側門台石垣の解体及び積直し修理工事の実施 (工事期間 平成29年度～令和元年度)
・石垣改修工事に係る報告書の作成・刊行

< 現状に対する認識 >

・令和元年度で本丸北裏門東側門台石垣の解体及び積直し修理工事が完了
・今後も、文化財修理事業として適切な工事となるよう文化庁及び有識者の助言を得ながら、崩落の恐れのある石垣修理を優先して取り組む必要がある

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	危険度Aの石垣修理の進捗率				
指標の設定理由	石垣修理の進捗率を把握するため				
目標値	20	21	23	24	26
実績値	20	21	23	24	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,221		15,610		127		22,360		2,510	
国・県			8,010		64		7,730		1,240	
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	3,221		7,600		63		14,630		1,270	
人件費(千円)	6,152	人工	4,554	人工	4,530	人工	1,520	人工		人工
正規	6,152	0.8	4,554	0.6	4,530	0.6	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	9,373		20,164		4,657		23,880		2,510	
前年度比	-		215.1%		23.1%		512.8%		-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国宝松本城天守耐震対策事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国宝松本城天守耐震対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~

平成26~28年度の3年間で実施した松本城天守耐震診断の結果をもとに、天守の耐震補強内容の検討を行うと共に、天守建物と石垣との一体的な耐震対策に取り組むもの。
あわせて防災整備の見直し等を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 国宝松本城天守耐震対策専門委員会の開催
天守耐震対策基本計画策定のために有識者による専門委員会を開催し、耐震対策(耐震工事内容)について検討を実施
・委員(大学教授等の有識者)6名と、指導助言者(文化庁及び長野県の担当)2名で構成
・専門委員会開催 1回
- 2 国宝松本城天守耐震対策基本計画の策定
耐震補強工事実施のための耐震対策基本計画の策定
複数ある耐震補強見直し案の検討
耐震要素となりうる構造物の追加調査の検討・実施
- 3 石垣の耐震対策の検討
耐震に係る石垣の取扱いについて、松本市独自の調査方法の検討(文化庁から当初予定していた方針が示されないため)
- 4 その他
観覧者や市民等と安全確保(平成29年度より実施)
乾小天守の公開中止と天守内入場者数の制限、警備員の配置等
天守の防火設備更新・新設の検討

< 現状に対する認識 >

・耐震対策を推進するためには、有識者や国・県との調整が必要となる
・大地震動時(震度6強~7)では全体的に強度が不足しているため、大規模の耐震補強工事が必要となる
・防災設備の老朽化や脆弱性を指摘されているため、防災強化を目的とした、防災設備の整備を早急に実施する必要がある。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	令和8年度の耐震補強工事着手				
指標の設定理由	耐震補強工事実施に向けての進捗状況を把握するため				
目標値	-	計画策定	計画策定	計画策定	計画策定
実績値	-	-	-	-	-
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		6,968		4,609		15,194		204,760	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)			6,968		4,594		15,194		204,760	
人件費(千円)	0	人工	6,072	人工	6,040	人工	6,840	人工		人工
正規	0	0	6,072	0.8	6,040	0.8	6,840	0.9		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	0		13,040		10,649		22,034		204,760	
前年度比	-		-		81.7%		206.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	松本城歴史資料保存事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城歴史資料保存事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本城や松本藩関連の歴史資料を収集・保存し、今後の調査研究に活用するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 資料収集及び調査・研究
 徳川林政史研究所所蔵の松本藩主戸田家に関する古文書の複写や、寄附受入れ等による松本城や松本藩に関する資料の収集と、それらの調査、研究
 ・古文書複写数 28文書 1,920枚分
 ・寄附受入れ件数 2件
 ・調査した資料、文書等 15冊(その他、絵図2枚)
- 資料の日常管理
 所蔵する歴史資料の適切な保存管理を図るため、収集した資料の劣化防止対策(古文書の中性紙封筒への収納)や、既存資料の目録作成等の日常管理の実施
 ・整理した資料(中性紙封筒への収納数) 約1,000袋

< 現状に対する認識 >

・史跡松本城の適切な保存・活用のためには、継続して松本城や松本藩に関する歴史資料の収集、保存と調査研究を行う必要がある
 ・調査、研究の成果を天守・史跡整備に活用することや、市民への周知等にも取り組む必要がある

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	収集した古文書数(複写数)				
指標の設定理由	資料収集の進捗状況を把握するため				
目標値	14	24	37	28	27
実績値	14	24	37	28	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	619		623		677		691		700	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	619		623		677		691		700	
人件費(千円)	10,847	人工	11,136	人工	9,425	人工	9,398	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
研究専門員	8540	2.8	8859.2	2.8	7117.6	2.8	7,118	2.8		
合計コスト +	11,466		11,759		10,102		10,089		700	
前年度比	-		102.6%		85.9%		99.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	単独松本城史跡整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	単独松本城史跡整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H14 ~

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、定期的に石垣の動態を観測し、崩落の危険性を把握するもの。
黒門と太鼓門の耐震診断結果に基づき、適切な対応を取ることで地震時等の安全を確保するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 石垣動態観測
石垣の動態を観測するため、平成25年に定めた観測点について、年1回、測量を行い、状況を把握するもの
・観測地点64地点(天守台、黒門、北通用門、北外堀)
- 松本城黒門・太鼓門耐震対策
診断結果に基づき、耐震性能が不足する両門の耐震対策の検討及び耐震対策基本計画を策定するもの
黒門・太鼓門の耐震方法を検討
太鼓門の沈降状況を確認するための定期調査実施
観覧者、市民等の安全確保のための耐震診断結果周知と、太鼓門の特別公開中止
- 東総堀の整備
史跡松本城の史跡範囲に指定(H29指定済み)した東総堀の整備を推進するもの

< 現状に対する認識 >

・今回の修理箇所以外にも、石垣の崩落の危険性を確認するため、今後も動態観測を継続する必要がある
・黒門・太鼓門の耐震診断の結果、予想以上の耐震補強量が必要となったことから、耐震方法について有識者や文化庁と相談しながら進める必要がある。また、天守耐震補強工事と同時期にならないように調整する必要がある

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間の動態観測実施回数				
指標の設定理由	動態観測を実施し石垣の状況を監視するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	399		81,372		12,553		602		8,990	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	399		81,372		12,181		602		8,990	
人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工	3,775	人工	4,560	人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5	4,560	0.6		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	2,706		85,167		16,328		5,162		8,990	
前年度比	-		3147.3%		19.2%		31.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18 ~ R6

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図るため、都市計画道路内環状北線整備事業と一体的に松本城南・西外堀を復元するもの。
また、自然由来と推測される土壌汚染の判明に伴う、堀復元から平面整備への事業方針の変更について、将来の堀復元を考慮した整備計画を検討するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 南・西外堀復元事業用地を史跡松本城に追加指定(H29指定済み)した上で、国庫補助を取り込みながら事業用地の取得推進と、発掘調査・復元整備工事等を実施するもの
・用地取得の状況 9,283.26㎡の事業用地に対し、取得済面積5,840.61㎡ (全体の取得率 62.9%)
- 事業方針(整備)の内容検討
堀復元から平面整備へと見直した事業方針の内容について、庁内の部局横断組織を令和元年度に設置し、調査・研究を実施するもの
・庁内委員会(部長級会議) 2回開催
・庁内委員会幹事会(課長級会議) 2回開催

< 現状に対する認識 >

・令和6年度の事業(整備)完了に対し、用地取得は予定どおりの進捗と認識
・用地取得については、未買収の地権者の意見に留意しながら、粘り強く交渉を進めたい。
・「平面整備」は当面の方針であり、「堀復元」は整備後の課題であることを踏まえ、整備の内容及び堀復元の可能性を庁内外で検討する必要がある。
・平面整備にあたっては、史跡保護の観点から必要最小限とする必要がある

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業用地の取得面積(㎡ 累計値)				
指標の設定理由	事業の実施状況を把握するため				
目標値	4,026	4,508	5,244	5,841	6,196
実績値	4,026	4,508	5,244	5,841	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	141,787		133,434		185,634		117,570		113,980	
国・県	113,429		104,917		148,507		92,840		91,180	
利用者負担金										
その他(起債・松本城施設整備基金)	28,358		28,517		37,127		24,730		22,800	
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	7,550	1	7600	1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	144,094		135,711		193,184		125,170		113,980	
前年度比	-		94.2%		142.3%		64.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18 ~ R6

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図るため、都市計画道路内環状北線整備事業と一体的に松本城南・西外堀を復元するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 松本城南・西外堀復元事業の用地取得に伴い、取得推進と取得後の事業用地の管理に必要な事務事業を実施するもの
 - ・用地取得の状況 9,283.26㎡の事業用地に対し、取得済面積5,840.61㎡ (全体の取得率 62.9%)
 - ・補償算定等を行う際の調査委託や不動産鑑定等の業務
 - ・用地買収後の事業用地の管理業務 (立入り防止等工事、除草 ほか)
 - ・用地取得に伴う代替地の購入及び整備業務

< 現状に対する認識 >

- ・令和6年度の事業(整備)完了に対し、用地取得は予定どおりの進捗と認識
- ・取得済み事業用地の拡大に伴い、管理業務の必要性・重要性がこれまで以上に増すものと思われる
- ・事業着手から一定の年数が経過したため、当初行った補償算定等について、再度実施する必要性が生じている

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業用地の取得面積(㎡ 累計値)				
指標の設定理由	事業の実施状況を把握するため				
目標値	4,026	4,508	5,244	5,841	6,196
実績値	4,026	4,508	5,244	5,841	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	751		17,862		17,759		8,860		15,150	
国・県										
利用者負担金										
その他	751		17,862		17,759		8,860		15,150	
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	760	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,058		20,139		20,024		9,620		15,150	
前年度比	-		658.6%		99.4%		48.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	各種行事運営費
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	各種行事運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

松本城を背景に各種行事を行い、市民や観光客に松本城を身近に触れていただくとともに、質の高い伝統文化を提供し、文化財保護意識と集客を高める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城本丸庭園及び松本城公園を主会場とする各種行事
(令和元年度実施した主な行事)

- ・ 4月 国宝松本城夜桜会 約35,000人
(松筑雅信会による雅楽演奏等、古城会による団子等の販売)
- ・ 4月 国宝松本城松本藩古流砲術演武 約4,700人
(松本城鉄砲蔵赤羽コレクション会鉄砲隊による砲術演武)
- ・ 7月 国宝松本城太鼓まつり 約8,800人
(さわやか信州松本フェスティバル実行委員会主催行事に協力)
- ・ 8月 国宝松本城薪能 約1,000人
(観世流白翔会による能の演舞)
- ・ 9月 国宝松本城月見の宴 約4,500人
(松筑雅信会による雅楽演奏等、古城会による団子等の販売)
- ・ 11月 お城まつり 約65,300人
(国宝松本城合同茶会、国宝松本城人形飾り物展、国宝松本城古式砲術演武、国宝松本城菊花展、国宝松本城少年少女武者行列、国宝松本城古城太鼓演奏ほか)
- ・ 11月 国宝松本城と鷹狩り 約1,000人
(長野県立大学協力による鷹狩り演舞、講演会)
- ・ 1月 国宝松本城新春祝賀式 約7,000人
- ・ 2月 国宝松本城氷彫フェスティバル 約15,400人
(さわやか信州松本フェスティバル実行委員会主催行事に協力)

< 現状に対する認識 >

各種行事を通じ、多くの市民や観光客に松本城をより身近に感じていただくことの重要性はあるが、行事の意義、必要性等を再検討し、本丸庭園内での実施の可否なども含めた全体の見直しが必要。

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 主な取組み	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち			市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	参加人数				
指標の設定理由	松本城への行事来場者数で効果が測定できるため				
目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	50,000
実績値	214,610	214,072	193,123	142,389	
達成度	107.3%	107.0%	96.6%	71.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	25,533	25,906	26,675	26,708	28,470
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	25,533	25,906	26,675	26,708	28,470
人件費(千円)	8,459	8,349	12,080	12,160	
正規	8,459	1.1	8,349	1.1	12,080
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	33,992	34,255	38,755	38,868	28,470
前年度比	-	100.8%	113.1%	100.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	観光宣伝費
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	観光宣伝費

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

松本城誘客用のパンフレット等の作成、松本城おもてなし隊の活動、国宝松本城ホームページの運用により観光客の増加に努める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城を誘客のためのパンフレット等の作成し、旅行会社等に配布
パンフレット制作 840,000部(英語版を含む)
- 松本城おもてなし隊の活動
年間を通じて、松本城入城者との写真撮影、観光案内等を実施
- 国宝松本城ホームページの運用・保守
- 松本城公園イルミネーション
行燈設置(年中)、冬期の「城下町Hikariのページェント」共催
- 松本城VR映像配信
有料区域内において、江戸時代の城の様子が見られるバーチャル映像を配信

< 現状に対する認識 >

国宝松本城ホームページ等を運用、活用することにより、外部への情報発信に努め、また、SNSや松本城おもてなし隊等により、松本城を基点とした回遊性創出のきっかけに努める。
江戸時代の松本城内を3次元CGで制作し配信しているVR体験は好評で、大勢の観光客に楽しんでいただいているので、今後さらなる活用も考える。

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000	
実績値	990,361	912,587	898,493	893,832		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.2%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	19,899	37,927	21,491	20,938	21,960
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	19,899	37,927	21,491	20,938	21,960
人件費(千円)	1,538	1,518	2,265	2,280	
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	2,265
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	21,437	39,445	23,756	23,218	21,960
前年度比	-	184.0%	60.2%	97.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	施設整備事業費
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本城天守、史跡松本城及び関連施設の適切な維持管理による、松本城の歴史的景観の維持。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 天守他塗替え委託
天守、太鼓門、黒門の漆部分の塗替え委託を実施
- 2 松本城施設の修繕、営繕工事を実施
- 3 松本城施設整備基金への積立

< 現状に対する認識 >

松本城施設の保全を目的に、予算内で有効な修繕、業務委託、営繕工事を実施。

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493	893,832	
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	148,469		37,753		44,837		61,130		43,390	
国・県										
利用者負担金										
その他	3,373		2,329		1,882		540		550	
一般財源(松本城特会)	145,096		35,424		42,955		60,590		42,840	
人件費(千円)	6,338	人工	6,272	人工	9,190	人工	9,254	人工		人工
正規	5,768	0.75	5,693	0.75	8,305	1.1	8,360	1.1		
嘱託	570	0.2	579	0.2	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	154,807		44,025		54,027		70,384		43,390	
前年度比	-		28.4%		122.7%		130.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	事務管理
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	事務管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

文化財の保全管理を図りつつ、観光資源としての観覧者の受け入れを行い、国宝としての適正な管理運営を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 経常の松本城管理運営経費
松本城経費、借上料、備品購入、消費税の支払
- 松本城券売業務
松本城入場券の販売及び入場者数の把握(有料、無料)
各種割引券、団体からの観覧料領収書の対応及び各旅行会社からのクーポン処理
R1入城者数 893,832名
うち有料717,645名、無料176,187名
- 各種保守点検、管理委託業務
松本城の各種保守点検、市営開智駐車場、松本城宿直警備、松本城公園、本丸庭園トイレ清掃、史跡松本城南・西外堀警備等の業務委託

< 現状に対する認識 >

外国人観光客等が増えていることもあり、利便性向上のため、キャッシュレス対応の検討が必要

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市 長 公 約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000	
実績値	990,361	912,587	898,493	893,832		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.2%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	106,201	89,018	83,882	88,433	90,740
国・県					
利用者負担金					
その他	9,883	10,300	11,271	11,384	12,750
一般財源(松本城特会)	96,318	78,718	72,611	77,049	77,990
人件費(千円)	24,572	24,563	28,750	28,588	
正規	14,150	13,966	19,763	19,380	
嘱託	10,118	10,281	8,703	8,880	
研究専門員	305	316	284	328	
人工	1.84	1.84	2.57	2.55	
	3.55	3.55	2.95	2.98	
	0.1	0.1	0.1	0.1	
合計コスト +	130,773	113,581	112,632	117,021	90,740
前年度比	-	86.9%	99.2%	103.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	松本城学びと研究事業費
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城学びと研究事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民に松本城を身近に感じていただく

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城で学びの場を提供する
 - 夏休み子ども勉強会
 - 国宝松本城天守床磨き
- 展示品管理
 - 松本城に寄贈された138挺の火縄銃及び洋式銃等の清掃を行う。

< 現状に対する認識 >

文化財としての価値を認識していただくため、夏休み子ども勉強会、国宝松本城天守床磨き等により、市民への働きかけが大切

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
			5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	国宝松本城天守床磨き開催回数				
指標の設定理由	松本城の学びの場としての活用状況を把握できるため				
目標値	13	13	13	13	13
実績値	13	13	13	13	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	525		525		525		525		560	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	525		525		525		525		560	
人件費(千円)	536	人工	544	人工	482	人工	556	人工		人工
正規	231	0.03	228	0.03	228	0.03	228	0.03		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
研究専門員	305	0.1	316.4	0.1	254.2	0.1	328	0.1		
合計コスト +	1,061		1,069		1,007		1,081		560	
前年度比	-		100.8%		94.2%		107.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	庭園・公園管理費
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	庭園・公園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本城本丸庭園、松本城公園等の管理

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城本丸庭園、松本城公園清掃業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観保持に努めた
- 松本城本丸庭園、松本城公園冬囲い業務委託
松本城の冬の風物詩となっている冬囲い及び正月しめ縄の製作を委託し、樹木の保護及び文化の伝承を図る
- 松本城本丸庭園、松本城公園樹木等総合管理業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の樹木、草木、芝生等を総合的に保全管理を実施
- 松本城総堀樹木診断委託
松本城総堀の老木化した桜について、樹木医の診断により延命措置を講じるための調査及び診断を実施

< 現状に対する認識 >

多くの市民、観光客が訪れる松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観の保持。
樹木医による総堀の桜の調査、診断を実施し、適切な維持管理を進める。

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493	893,832	
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	21,316	24,756	24,822	25,877	25,880
国・県					
利用者負担金					
その他	10,608	12,328	11,634	12,938	13,040
一般財源(松本城特会)	10,708	12,428	13,188	12,939	12,840
人件費(千円)	1,669	1,656	3,363	3,390	
人工					
正規	1,384	0.18	1,366	0.18	1,888
嘱託	285	0.1	290	0.1	1,475
					0.25
					0.5
合計コスト +	22,985	26,412	28,185	29,267	25,880
前年度比	-	114.9%	106.7%	103.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	天守管理費
-------	-------

< 予算上の位置付け >	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	天守管理費

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
・国宝松本城天守の公開及び保全管理 ・松本城天守の耐震診断結果を踏まえた安全対策の強化		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 天守観覧用下足袋購入 天守を観覧する際に靴を入れる袋の購入
2 天守誘導・案内業務委託 松本城天守内清掃、観覧者の誘導、案内、巡回管理を実施
3 天守屋根清掃業務 天守他4棟(乾小天守、渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓)の屋根、壁及び石垣に付着する鳩糞の除去及び水洗い業務を実施
4 天守特別清掃 天守内の高所部分等、通常では困難な箇所の清掃を実施
5 天守内の安全対策 松本城天守の耐震診断結果により安全対策を実施 耐震診断の結果、「最大規模の地震の場合は倒壊」と判断された乾小天守の公開規制実施 避難誘導体制を強化するため天守内に警備、避難誘導員(委託業者)を配置

< 現状に対する認識 >
多くの市民、観光客が訪れる国宝の天守としての美景を保つことが大切。天守内の各階に警備員を配置する中で、警備員全員が観覧者の情報を無線活用することで共有し、きめ細やかなおもてなしを心がける。

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493	893,832	
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)		19,724	59,437	80,318	81,317	81,850
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)		19,724	59,437	80,318	81,317	81,850
人件費(千円)		1,669	1,656	2,183	2,198	
正規		1,384	1,366	1,888	1,900	
嘱託		285	290	295	298	
合計コスト +		21,393	61,093	82,501	83,515	81,850
前年度比		-	285.6%	135.0%	101.2%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	売店管理運営費
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	売店管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本城の関連商品を販売し、松本城の観光客思い出を持ち帰ることでピーター及び新規観光客獲得につなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 売店の管理運営
- 商品販売業務、売上の集計、商品棚卸
- 売店備品購入

< 現状に対する認識 >

拡張できない広さの中で、需要と供給のバランスを考慮した中での販売商品の精査。また、支払方法(カード決済、電子マネー等)の検討も必要

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	売店売上額					
指標の設定理由	松本城売店の売上状況を測定できるため					
目標値	134,700	144,480	144,480	144,480	144,480	
実績値	149,000	150,237	150,402	164,850		
達成度	110.6%	104.0%	104.1%	114.1%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	103,261	100,780	99,229	102,363	114,160
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	103,261	100,780	99,229	102,363	114,160
人件費(千円)	4,531	4,559	4,985	4,940	
正規	1,538	1,518	1,888	1,900	
嘱託	2,993	3,041	3,098	3,040	
人工	0.2	0.2	0.25	0.25	
	1.05	1.05	1.05	1.02	
合計コスト +	107,792	105,339	104,214	107,303	114,160
前年度比	-	97.7%	98.9%	103.0%	-

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	堀浄化対策事業費
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	堀浄化対策

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本城の堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去及び水質浄化を実施し、快適な公園環境・見学環境の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城史跡内堀等の清掃
史跡内の堀の清掃を定期的を実施するもの
・1年間を通じて実施
- 松本城堀浄化のための薬剤散布
堀の水質浄化と堆積物の改善のため、薬剤(酸化マグネシウム)の散布を実施
・内堀及び外堀の計4カ所 年1回(6月)に散布
- 堀堆積物の除去(浚渫)
全面的な堆積物除去に向けた準備と計画の策定
堀の堆積物、水量、水質等を把握するための堀総合調査の実施(平成30年度~令和2年度)
松本城の堀に適した浚渫工法を選定するための実証実験実施の検討
堀浚渫工事のための基本計画の策定(令和元年度~)

< 現状に対する認識 >

・堀の水質は無色透明、一部で弱腐敗臭、堆積土は平均1m、深い箇所では2.5m、砒素及びその化合物を大量に含有している
・膨大な堆積物除去を行った全国的な事例が少数で確立された手法がないため、松本城に合わせた個別対応が必要
・浚渫工事にあたっては観光客や周辺住民への配慮が必要であり、繁忙期(4月~11月)を避ける必要がある

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493	900,000	
達成度	110.0%	94.1%	92.8%	97.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,660		6,479		14,764		7,930		46,320	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	6,660		6,479		14,763		7,930		46,320	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	3,076	人工	4,846	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	3,076	0.4	4,846	0.6		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	8,967		8,756		17,840		12,776		46,320	
前年度比	-		97.6%		203.7%		71.6%		-	

美術館

副館長 堀 洋一

事務事業評価票

事務事業名	美術館管理運営
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた管理運営を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理内容
美術館の管理運営部門について、5年間(29～34年度)の特命指定として(一財)松本市芸術文化振興財団へ委託した。
委託内容は以下のとおり
(1)施設運営に関する業務(受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等)
(2)施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、小規模修繕)
(3)経営管理業務
(4)自主事業(施設の利用促進のための事業)

2 美術館の大規模改修
平成14年の開館から16年が経過し、空調設備や照明・移動壁の交換及び来館者の大幅増に対応できる整備が必要。美術館開館20周年(令和4年度(2022年))の前年の2021年度を大規模改修の実施年とする。毎月定例的に館内、庁内関係部署、設計、改修関係業者と打合せ、検討会議、現場でのヒアリング及び調査を行い、改修箇所の確定及び概算額を算出した。

3 草間彌生作品の拡大特別展示
草間氏本人、草間スタジオ、草間彌生記念芸術財団との連携による円滑な顕彰活動を継続。常設展示室A～Cを利用し新収蔵作品(52点)の公開にあわせ、初期作品から最新シリーズまでの約70作品を拡大特別展示した。専用ポスター及び専門のパンフレットを作成、SNSの利用等により「草間生誕の地・松本」を国内外に強く発信できた。

< 現状に対する認識 >

セキュリティの強化による管理体制の向上のため、常駐警備員を配置し入退出管理の徹底を図ったことで、館内外作品の保安及び不審者等への危機管理能力が向上し、貸室などの施設利用者や来館者へのサポートも厚くなり、館全体のサービスが向上した。今後も危機管理体制を整備し、感染症など新たな脅威への対応力強化を図りたい。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ギャラリーABの稼働率(%:利用日/利用可能日数)				
指標の設定理由	市民等の成果発表の場の利用状況を測定できるため				
目標値	90.0	90.0	90	90	
実績値	90.2	86.7	94.0	66.0	
達成度	100.2%	96.3%	104.4%	73.3%	
成果指標(指標名)	ミュージアムショップ売払収入(千円)				
指標の設定理由	運営の状況を直接的に測定できるため				
目標値	34,080	42,600	54,530	89,820	
実績値	48,553	61,957	56,918	77,993	
達成度	142.5%	145.4%	104.4%	86.8%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	193,082	219,535	715,493	245,710	199,980
国・県					
利用者負担金	58,513	70,707	189,816	97,462	
その他					
一般財源	134,569	148,828	525,677	148,248	
人件費(千円)	23,070	22,011	22,650	22,800	
正規	23,070	3	22,011	2.9	22,650
嘱託	0	0	0	0	3
合計コスト +	216,152	241,546	738,143	268,510	223,050
前年度比	-	111.7%	305.6%	36.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	美術館事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取組み		OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
			松本版総合戦略			

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた事業を実施する。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 展覧会事業 以下企画展を開催(人数は観覧者数)。コレクション展示(常設展)は、草間彌生作品の拡大特別展示等を実施した。 (1)「ユニマット展」(ユニマットが所蔵するフランス近代美術作品を紹介)12,908人 (2)「不思議の国のアリス展」 (物語の原点や影響を受けた現代アート作品等を紹介)42,092人 (3)「日本画名品展」 (長野県信濃美術館と松本市美術館が所蔵する日本画による交流展)10,530人 (4)「デュフィ展」 新型コロナウイルスによる臨時休館により開館日数22日減 (フランスの画家ラウル・デュフィの絵画やテキスタイルを展示)5,575人
2 草間彌生顕彰事業 新収蔵作品「愛はとこしえ」シリーズ全50点、(天国への梯子)、(大いなる巨大な南瓜)の公開にあわせ、初期作品から最新シリーズまでの約70点を拡大特別展示した他、各種PRや紹介パンフレットを改定印刷する等、国内外への発信に努めた。 紹介パンフレット印刷部数100,000部、外国人観覧者数16,899人(前年度12,620人)
3 教育普及事業 美術の魅力を伝えるため、各世代を対象としたワークショップや講座を開催した。 企画展との連動 講座数11回、参加人数326人 ワークショップ等 実施数33回、参加人数10,875人
4 保存管理事業 作品の保存管理のため、修復・額装や館内環境調査を行った。 修復・額装実績 油彩画修復8点、書修復2件3点、額装4点

< 現状に対する認識 >
展覧会は、メディアとの共同開催による宣伝効果があらわれていると認識。草間彌生は、外国人観覧者数が過去最高となったことから国内外への広報が浸透しており、PRを継続すると共に、市内の回遊に繋がる企画運営を行う。教育普及は、鑑賞教材として今年度新たに活用を始めた「鑑賞ノート」の利便性を検証する。保存管理は、適切な作品保存環境の維持に努め、引き続き計画的な修復等業務を継続する。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	企画展の観覧者数(人) 4/1~7老いるほど若くなる展は除く				
指標の設定理由	PRなど、市民等への周知が充分であるか測定できるため				
目標値	42,500	60,000	114,000	62,000	
実績値	38,248	77,386	159,171	98,500	
達成度	90.0%	129.0%	139.6%	158.9%	
成果指標(指標名)	講座等への参加者数(人)				
指標の設定理由	時代のニーズにあう講座が開催されたか測定できるため				
目標値	780	670	626	490	
実績値	625	587	444	325	
達成度	80.1%	87.6%	70.9%	66.3%	

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	85,157	124,971	46,393	110,940	75,890					
国・県										
利用者負担金	39,015	32,379	26,430	53,083						
その他	104	62	1,857	15						
一般財源	46,038	92,530	18,106	57,842						
人件費(千円)	48,990	人工	47,671	人工	53,913	人工	48,580	人工		人工
正規	46,140	6	44,781	5.9	50,963	6.75	45,600	6		
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	134,147		172,642		100,306		159,520		124,880	
前年度比	-		128.7%		58.1%		159.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	アカデミア館管理運営
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	アカデミア館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場として新たな美術を育む創造の母体となることを目指すもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 指定管理内容
アカデミア館の指定管理者が梓川ふるさと振興公社から(一財)松本市芸術文化振興財団に変わり、5年間(29～34年度)の特命指定の当初年として委託した。
- 委託内容
(1) 施設の事業に関する業務(展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出)
(2) 施設運営に関する業務(開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出)
(3) 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等)
(4) 経営管理業務
(5) 自主事業(施設の利用促進のための事業)
- 展覧会等の開催
(1) 主催展覧会 信州梓川賞展、望月信幸版画展、他1展
(2) 貸館(ギャラリー) 展示・コンサート等41件
(3) アクセスギャラリー他無料スペースでの展示等41件
(4) 主催イベント ウィンターコンサート、梓弓研究会11回、ワークショップ4回

< 現状に対する認識 >

平成29年度に指定管理者を(一財)松本市芸術文化振興財団に変更、松本市美術館と一体的な管理となった。
施設の経年劣化による管理維持コストは大きいですが、西部地域の美術教育普及の拠点施設と位置づけ事業を展開し、一定の成果が得られた。マンパワーの少ない状況であるが、今後も施設、地域資源を最大限活用し、子ども向け事業をはじめ多彩な内容で事業に取り組み、新たな魅力の創設と発信を継続したい。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	入館者数(人)				
指標の設定理由	入館者数により魅力ある館運営が実施されているか測定できるため				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	
実績値	16,672	20,752	25,595	28,812	
達成度	83.4%	103.8%	128.0%	144.1%	
成果指標(指標名)	梓川賞展への作品応募数(点:応募数)				
指標の設定理由	市内外の美術愛好家からの注目度、関心度を測ることができるため				
目標値	100	100	100	100	
実績値	381	103	318	447	
達成度	381.0%	103.0%	318.0%	447.0%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	16,546	31,721	29,883	18,881	18,910
国・県					
利用者負担金	1,159	1,028	1,084	1,034	1,250
その他					
一般財源	15,387	30,693	28,799	17,847	17,660
人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工
正規	0	1,518	0.2	1,510	0.2
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	16,546	33,239	31,393	20,401	20,448
前年度比	-	200.9%	94.4%	65.0%	-

博物館

館長 木下 守

事務事業評価票

事務事業名	国宝旧開智学校校舎保存活用事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

国宝旧開智学校校舎の健全な保存と来館者の安全性を高めるため、耐震対策工事を行うもの。また、耐震対策工事による3年程度の休館後の施設の保存活用方針を定め、文化財施設のよりよい保存活用方法を検討する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 耐震基礎診断の実施(平成28~29年度)
平成28年度~29年度にかけて、旧開智学校校舎の耐震診断を実施。耐震性能の判定と耐震化対策の検討を行った。平成28年度~29年度に実施した耐震診断の完了事業全体の進捗状況は30%
- 旧開智学校校舎周辺整備計画庁内検討会議(令和元~2年度)
令和元年度に、旧開智学校校舎周辺整備計画庁内検討会議を2回開催し、旧開智学校周辺整備の課題について、検討した。
- 旧開智学校保存活用計画の策定(平成30年度~令和2年度)
令和元年度中の保存活用計画策定を目指し、素案を作成した。

の

< 現状に対する認識 >

・校舎の耐震工事の早期着手に努めていきたい。
・令和元年度から始めた旧開智学校校舎周辺整備計画庁内検討会議を引き続き開催し、課題解決に向けた検討を行いたい。
・保存活用計画は、旧開智学校校舎周辺整備計画庁内検討会議や、文化庁との協議をすすめながら、令和2年度末に策定したい。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗度(%)				
指標の設定理由	耐震診断委託、計画策定、工事の進捗状況を示す数値を設定				
目標値	15.0	30.0	45.0	60.0	70.0
実績値	15	30	40	51	
達成度	100.0%	100.0%	88.9%	85.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,344		10,260		0		14,014		11,882	
国・県	3,892		5,438		0		0		6,297	
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,452		4,822		0		14,014		5,585	
人件費(千円)	1,823	人工	1,807	人工	1,510	人工	760	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	760	0.1		
嘱託	285	0.1	289	0.1	0	0	0	0		
合計コスト +	9,167		12,067		1,510		14,774		11,882	
前年度比	-		131.6%		12.5%		978.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	まる博構想推進事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まる博構想推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づき、博物館が市民協働や博物館連携事業を実施することにより、学びを通じた「ひとづくり」「まちづくり」を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- まる博deウォーキング事業
市民学芸員が主催する、一般市民を公募したウォーキングを実施。市民学芸員が城下町南西部を中心としたコースを考え講師を務めた。
(1) 事業名 まる博deウォーキング
(2) 実施日 令和元年11月16日(土)
(3) 参加者 15名
- 松本藩領ミュージアム事業
平成26年度から実施している中信地区を対象範囲とする広域連携事業として、講演会を開催。
(1) 事業名 松本藩領ミュージアム講演会「菅江真澄と信濃のつながり」
(2) 内容 「菅江真澄 旅の始まり 釜井庵を拠点に信濃をめぐる」
中原文彦氏(本洗馬歴史の里資料館学芸員)
「菅江真澄と民俗学」 武井成美(市立博物館学芸員)
(3) 実施日 令和元年11月2日(土)
(4) 参加者 36名
- 市民学芸員養成講座事業
博物館とともに地域の文化財に対する学習・調査や、博物館の普及公開活動を行う人材を育成するための講座。
(1) 事業名 市民学芸員養成講座
(2) 実施期間 平成31年5月～令和元年3月(全8回)
(3) 修了者 9名

< 現状に対する認識 >

市民が気軽に参加し、市域の文化資産を身近に感じられるような学習支援事業を市民学芸員と協働で計画し、市民の学習要望に応じていく。「まる博deウォーキング」や「民俗調査」、「学校等への七夕人形づくり出前講座」など、市民協働事業を推進していく。また、藩領ミュージアムも実施し、他博物館との積極的な連携活動を継続する。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	観覧者数(分館14館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748	231,409	263,724	
達成度	99.0%	108.9%	99.5%	112.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	305		1,911		180		580		200	
国・県										
利用者負担金										
その他			558							
一般財源	305		1,353		180		580		200	
人件費(千円)	11,992	人工	11,890	人工	11,880	人工	11,966	人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,815	1.3	9,880	1.3		
嘱託	1,995	0.7	2,023	0.7	2,065	0.7	2,086	0.7		
合計コスト +	12,297		13,801		12,060		12,546		200	
前年度比	-		112.2%		87.4%		104.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	松本市基幹博物館整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	基幹博物館整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	H28～R5
--------	--------

松本城の史跡内に位置し、開館から50年以上が経過した現博物館を、城下町の再生を進めるうえで極めて重要なエリアとなる松本城三の丸地区の市営松本城大手門駐車場等敷地に、松本まるごと博物館の中核施設(基幹博物館)として移転新築するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 新築工事
昨年度に引き続き建築及び展示の設計を進めてきたが、令和元年7月に建築及び展示の設計が完了した。12月末に建築工事・機械設備工事・電気設備工事の入札を行い、令和2年3月に工事請負契約を行った。
- 展示製作業務
令和2年10月の製作着手に向け、契約手続きを進めていく。
- 建設地の借地
建設地の借用部分については、土地所有者と10年間の事業用定期借地権契約を締結した。今後は、早期に市へ譲渡いただけるよう、代替地確保のための用地交渉等を進めていく。
- 各種調査の実施
地下水影響調査を行った。
- 埋蔵文化財発掘調査
建設地の埋蔵文化財発掘調査を、約1年間かけ行った。

< 現状に対する認識 >

令和元年3月に新築工事の請負契約が締結され、いよいよ建設に向けて一歩を踏み出すこととなる。
また、展示製作業務についても、令和2年10月の着手に向け、契約事務手続きを行っていく。
今後も、令和5年度の閉館に向け着実に事業を進めていきたい。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市立博物館本館の共通券(博物館販売分) + 単独券販売枚数				
指標の設定理由	開館は35年度予定のため、現博物館の観覧券販売数を基に目標値を設定				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	16,943	18,537	16,700	20,690	
達成度	84.7%	92.7%	83.5%	103.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	9,580	188,215	378,610	137,190	822,140
国・県	0		69,220	65,230	91,550
利用者負担金	0				
その他	0	110,000	302,120	53,530	708,050
一般財源	9,580	78,215	7,270	18,430	22,540
人件費(千円)	13,390	人工 28,550	人工 43,650	人工 43,960	人工
正規	7,690	1 22,770	3 37,750	5 38000	5
嘱託	5,700	2 5,780	2 5,900	2 5960	2
合計コスト +	22,970	216,765	422,260	181,150	822,140
前年度比	-	943.7%	194.8%	42.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	博物館特別展開催事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館特別展開催事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

平成12年度に策定した松本まると博物館構想に基づいて、特別展を開催することにより、市民に学習機会を提供するとともに、郷土の歴史や文化資産の保護に対する市民の関心を高めて「ひとづくり」「まちづくり」に貢献するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市立博物館(本館)で、下記の展覧会を開催。
 特別展「菅江真澄と民俗学」
 (1) 会期 令和元年9月7日～11月24日
 (2) 内容 菅江真澄没後190周年を記念し、菅江真澄が歩いた信州の足跡と、後の松本の民俗学者たちが中心になって行った真澄研究の足跡を追った。
 (3) 入館者数 34,368人

< 現状に対する認識 >

現状で目標値を達成している。令和元年度は、大きな特別展開催は1回だったため、前年度と比較して入館者数は減少した。その分、「刀剣展」や「藤原コレクション展」などのミニ展示を数回開催し、ロビー展示を年10回行った。今後は令和5年度(2023年度)開館予定の基幹博物館移転に向けた博物館資料の整理・登録業務を活かし、基幹博物館開館時及び開館後数年の特別展事業内容を検討していく必要がある。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	特別展期間中観覧者(人)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績値	42,534	133,295	63,883	34,368	
達成度	141.8%	444.3%	212.9%	114.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	4,720		6,519		2,370		1,880		3,698	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,720		6,519		2,370		1,880		3,698	
人件費(千円)	12,761	人工	12,830	人工	12,800	人工	12,890	人工		人工
正規	10,766	1.4	11,385	1.5	11,325	1.5	11,400	1.5		
嘱託	1,995	0.7	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	17,481		19,349		15,170		14,770		3,698	
前年度比	-		110.7%		78.4%		97.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	博物館事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の歴史・文化資産に対する理解を深めるため、松本市立博物館本館と分館15館で資料の収集・保管、調査研究、展示、講座・講演会等を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 博物館資料の収集・保管業務
 - 収集資料・図書の資料整理・登録(全館)
 - 各館収集資料、寄贈資料を博物館資料管理システムに登録するもの
 - 各館所蔵図書、新規寄贈・交換図書を同上システムに登録するもの
 - 保存処理業務 刀剣、フィルムの保存処理等
- 常設展、特別展・企画展の実施
 - 市立博物館(本館) = 2階展示室でミニ展示「刀剣展」「藤原コレクション展」を開催、ロビー展を8回行った。
 - 分館 = 開智学校開催の京都学校歴史博物館連携特別展「学校資料を伝えて、使ってー教育資料のこれから」、時計博物館では「明治ー日本時計の近代化」を開催するなど、各施設の特徴を活かした特別展・企画展を開催した。
- 講座・講演会の実施
 - 本館
 - 第10回復活 話をきく会(参加者37名)
 - 分館
 - 考古博物館のあがたの森考古学ゼミナール、歴史の里のはた織り体験講座など、9分館で各施設の特徴を活かした講座・講演会を開催
- 各種印刷物の刊行
 - 館ニュース「あなたと博物館」(年6回発行) 各5,000部
 - 「松本の子どもの短歌 2019」 発行6,800部 など

< 現状に対する認識 >

松本まるごと博物館として、本館・分館で多様な市民ニーズに答える展覧会・講座・講演会を今後も実施する。また、令和5年の基幹博物館開館に向け、新博物館での資料の利活用推進のため、未登録資料の解消が急務である。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	観覧者数(分館14館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748	231,409	263,724	
達成度	99.0%	108.9%	99.5%	112.8%	-
成果指標(指標名)	資料・図書登録				
指標の設定理由	博物館資料の収集・保存の活動状況を測定できるため				
目標値	52%	53%	54%	55%	65%
実績値	29%	32%	37%	41%	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	34,464		33,473		40,550		41,390		36,020	
国・県							700			
利用者負担金										
その他										
一般財源	34,464		33,473		40,550		40,690		36,020	
人件費(千円)	63,272	人工	63,058	人工	63,320	人工	63,822	人工		人工
正規	40,757	5.3	40,227	5.3	40,015	5.3	40,280	5.3		
嘱託	22,515	7.9	22,831	7.9	23,305	7.9	23,542	7.9		
合計コスト +	97,736		96,531		103,870		105,212		36,020	
前年度比	-		98.8%		107.6%		101.3%		-	